

ユビキタスモジュール(UM04-KO)用
「モデムセットアップ情報ファイル」
設 定 手 順 書

第2.0版

株式会社 国際電気

著作権・免責事項について

●著作権について

本取扱説明書およびモデムセットアップ情報ファイルの著作権は、株式会社国際電気に帰属します。株式会社国際電気の許可なく、取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されております。お客様は、モデムセットアップ情報ファイルのご使用のために、ダウンロードした取扱説明書を1部のみプリントアウトすることができます。

●免責事項について

本取扱説明書およびモデムセットアップ情報ファイルは、お客様の責任においてご使用ください。本取扱説明書およびモデムセットアップ情報ファイルの使用によって生じた損害等について、株式会社国際電気は一切その責任を負わないこととします。

登録商標・商標について

本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
(Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。)
- HayesはHayes Microcomputer Products (米国)の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windows の表記について

- Windows 7 は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows 8は、Windows®8、Windows®8Pro、または、Windows®8 Enterpriseの略です。
- Windows 8.1は、Windows®8.1、Windows®8.1Pro、または、Windows®8.1 Enterpriseの略です。

目 次

1. ダイヤルアップ接続準備完了までの流れ.....	1
2. 対応する OS について	1
3. PC 上でのデバイス表示について.....	1
4. 高速シリアルカード(アダプタ)について	2
5. 確認事項	2
6. WINDOWS 7 環境の場合	3
6.1. モデム(UM04-KO)のインストール方法.....	3
6.2. ダイヤルアップ接続プロファイルの作成	10
6.3. モデム設定・接続プロファイルの設定・確認.....	18
6.3.1. モデム(UM04-KO)の設定・確認	18
6.3.2. 接続プロファイル・ハードウェア機能、通信速度の設定・確認.....	25
6.3.3. 接続プロファイル・ネットワークの設定(PPP 設定、TCP/IP 設定)	29
7. WINDOWS 8/WINDOWS 8.1 環境の場合	33
7.1. モデム(UM04-KO)のインストール方法.....	33
7.2. ダイヤルアップ接続プロファイルの作成	39
7.3. モデム設定・接続プロファイルの設定・確認.....	47
7.3.1. モデム(UM04-KO)の設定・確認	47
7.3.2. 接続プロファイル・ハードウェア機能、通信速度の設定・確認.....	54
7.3.3. 接続プロファイル・ネットワークの設定(PPP 設定、TCP/IP 設定)	58
8. 制約事項	62
8.1. モデムの照会.....	62

1. ダイヤルアップ接続準備完了までの流れ

ユビキタスモジュール(UM04-KO)を使用して、PC(パソコン)からダイヤルアップ接続を行うには以下の作業が必要です。

本手順書では6から8の手順について説明しています。

1. UM04-KOとUM03-KO接続用治具を接続
2. PCに高速シリアルを導入
3. UM03-KO接続用治具とPCを接続
4. PCとUM04-KO間のシリアル通信速度を設定
5. ATコマンドが使用できることを確認し、UM04-KOにAPNの登録
6. PCにUM04-KOをモデムとしてインストール
7. PCにダイヤルアップ接続プロファイルを作成
8. モデム設定・接続プロファイルの設定および確認
9. ダイヤルアップ接続を行います

1～5までの作業はそれぞれ、お客様の環境に合わせて設定を行ってください。

なお、この後の記述では「ユビキタスモジュール(UM04-KO)取扱説明書」を「UM04-KO取扱説明書」と表記いたします。あらかじめご了承ください。

また、本手順書はUM04-KO専用アダプタセットにも適用されます。

2. 対応する OS について

ユビキタスモジュール(UM04-KO)を使用可能なPCの日本語版OSを以下の表に示します。

表2-1 対応Windows一覧

項番	OS	エディション	サービスパック
1	Windows 7(32bit版/64bit版)	Professional	SP1以降
2	Windows 8(32bit版/64bit版)	Professional	
3	Windows 8.1(32bit版/64bit版)	Professional	8.1 Update

本手順書では、Windows 7、Windows 8およびWindows 8.1において使用する場合を例に設定方法を説明いたします。

また、インストール・設定は「コンピュータの管理者」(Administratorグループ)のアカウントで行ってください。

3. PC 上でのデバイス表示について

インストール後、ユビキタスモジュール(UM04-KO)は「UM03-KO接続用治具」もしくは「UM04-KO専用アダプタセット」どちらを使用した場合でも、デバイス上同一のモデムとして認識されます。

本手順書では、これらを合わせて「モデム(UM04-KO)」と表記いたします。

4. 高速シリアルカード(アダプタ)について

モデム(UM04-KO)を利用して230.4kbpsもしくは460.8kbpsの高速通信を行う場合、PCに高速シリアルカード(アダプタ)を導入しておく必要があります。導入方法については、高速シリアルカード(アダプタ)の取扱説明書(カード付属)を確認してください。

※ PC標準のシリアルインタフェースは115.2kbpsまでの通信速度になります。

- 高速シリアル変換アダプタのPCへの接続先(USBの場合、挿入するUSBコネクタの位置)を変更すると、ドライバの再インストールや、COMポートが変更になる場合があります。一度インストールを行ったら、同じ接続先(USBコネクタ)で利用することをお勧めします。

5. 確認事項

- 高速シリアル変換アダプタの導入(インストール)の確認

→使用する高速シリアル変換アダプタがPCでCOMポートとして認識できている必要があります。詳しくは使用する高速シリアルアダプタの取扱説明書を確認してください。

- モデムセットアップ情報ファイルの構成

本ドライバを格納した圧縮ファイル(UM04KO_UART_Modem_XXXX.zip)(XXXXはバージョン情報を示す)を任意のフォルダへ解凍しますと次のようなフォルダ構造が作成されます。

UM04KO_UART_Modem_XXXX

├──	UM04-KO.INF	モデムセットアップ情報ファイル
└──	um04-ko.cat	モデムセットアップ情報ファイル用カタログファイル

※本手順書では、モデムセットアップ情報ファイルを以下のフォルダに保存しているものとして説明します。

C:¥UM04-KO_Drv

以上の確認を行った後、モデム(UM04-KO)のインストール及びダイヤルアップ接続プロファイルの作成に進んでください。

6. Windows 7 環境の場合

6.1. モデム(UM04-KO)のインストール方法

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させ、表示方法から「大きいアイコン」を選択します。表示されたコントロールパネルにおいて、「電話とモデム」をクリックします(図6.1-1)。



図6.1-1

「電話とモデム」ウィンドウが表示されますので、続けて「モデム」タブを選択し、「追加」ボタンをクリックします(図6.1-2)。

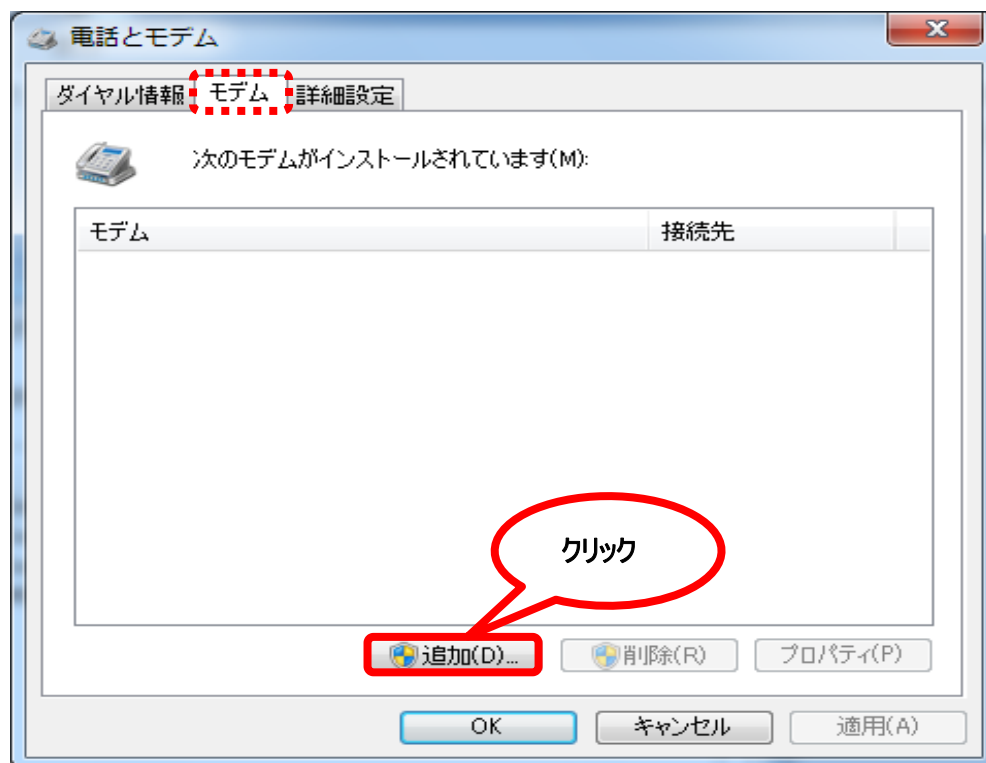


図6.1-2

「ハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されますので、「モデムを一覧から選択するので検出しない」にチェックをし、「次へ」をクリックします(図6.1-3)。

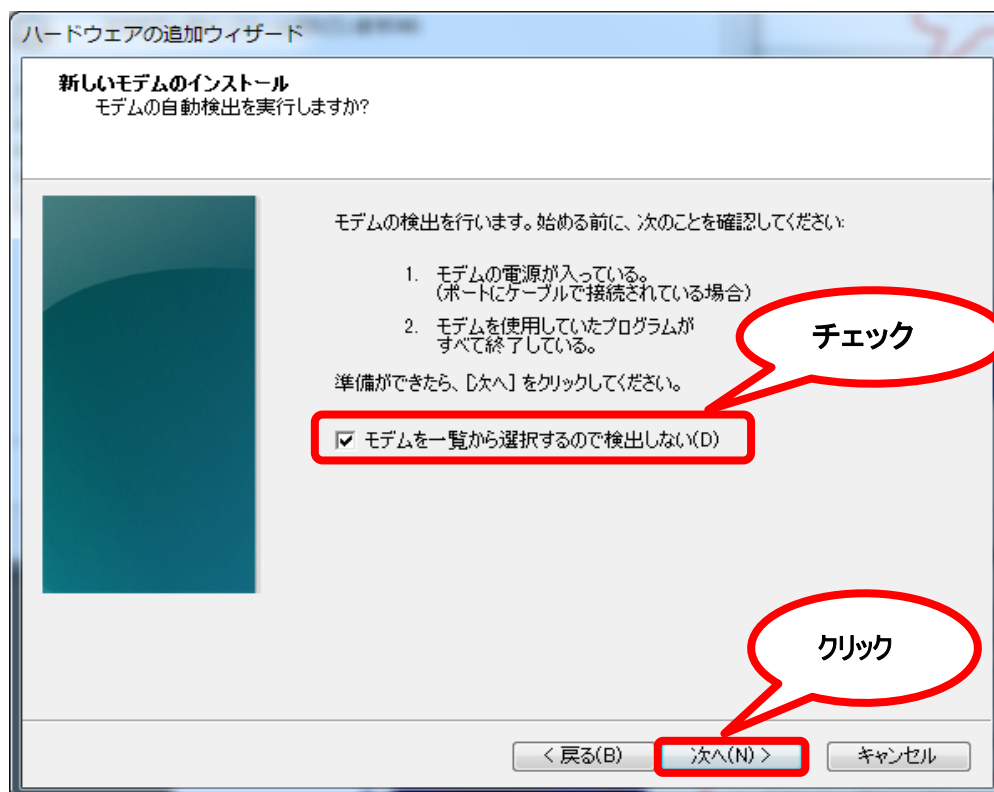


図6.1-3

モデムのインストールには「モデムセットアップ情報ファイル」を利用しますので、「ディスク使用」ボタンをクリックします(図6.1-4)。

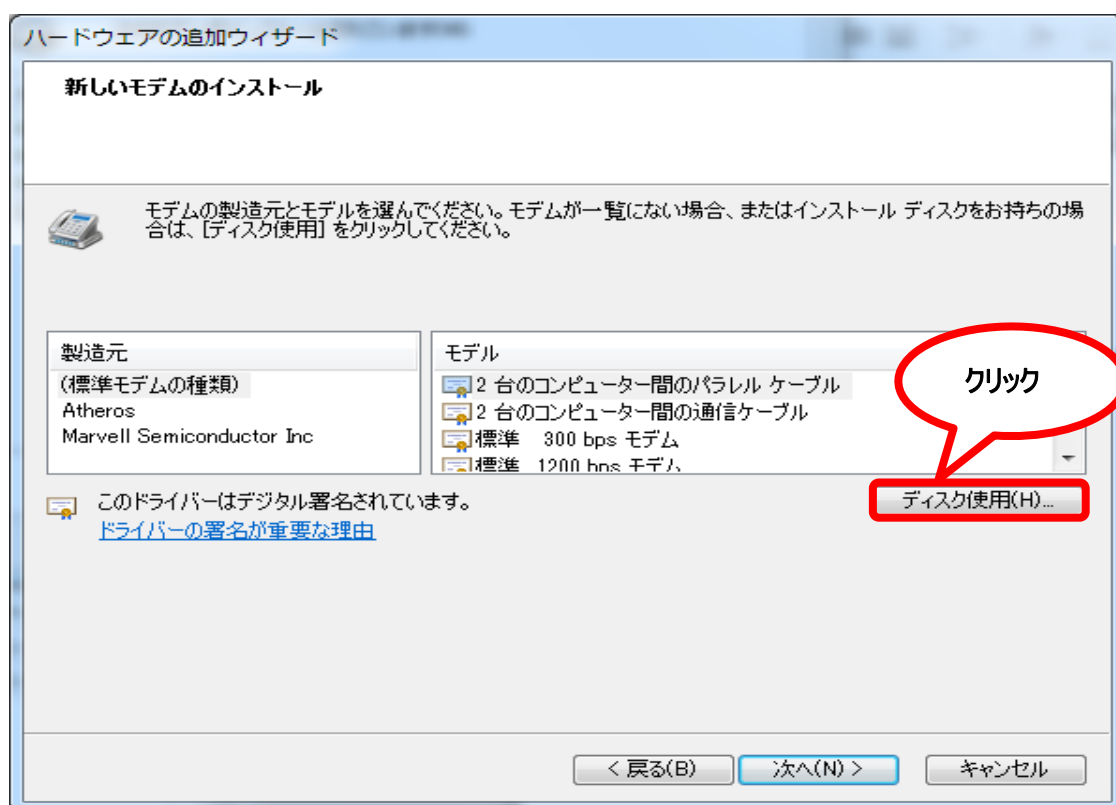


図6.1-4

ファイルのコピー元を指定するウィンドウが表示されますので、「参照」ボタンをクリックし、「モデムセットアップ情報ファイル」の保存した場所を指定します(図6.1-5)。

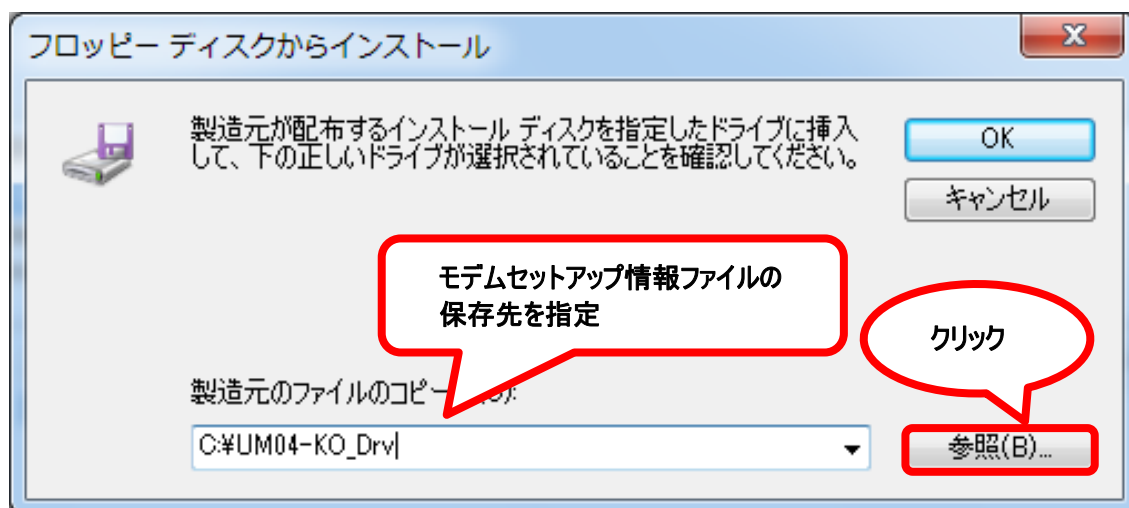


図6.1-5

コピー元の場所を指定後、「OK」ボタンをクリックします。(図6.1-6)

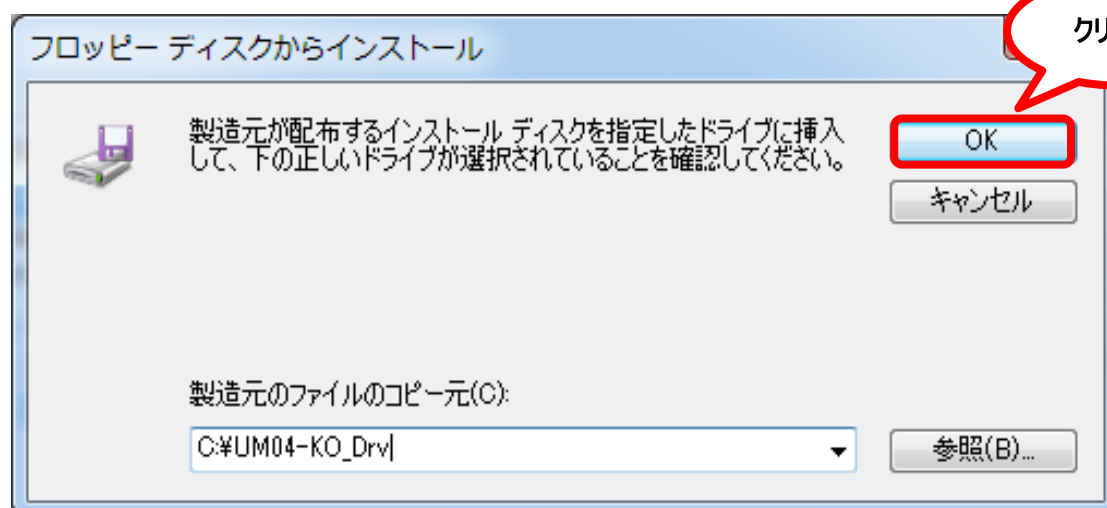


図6.1-6

「モデムセットアップ情報ファイル」を指定すると、モデムのモデル名が表示されます。表示されたモデル名「UM04-KO」を選択し「次へ」ボタンをクリックしてください(図6.1-7)。

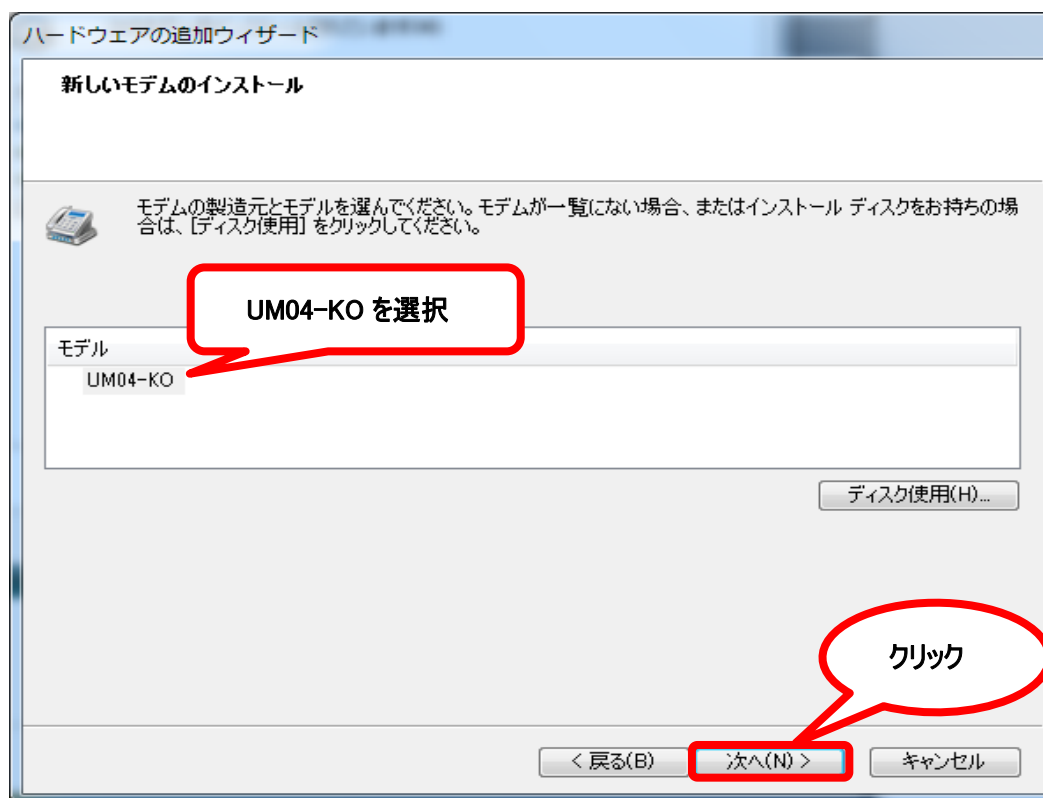


図6.1-7

次にモデム(UM04-KO)をインストールするポートを選択します。高速シリアルカードを使用する場合は、インストールした高速シリアルカードのポートを指定してください(図6.1-8)。

(図6.1-8ではCOM1を選択していますが、コンピュータのポート割当て状況によって異なります。)

使用するポートを選択後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

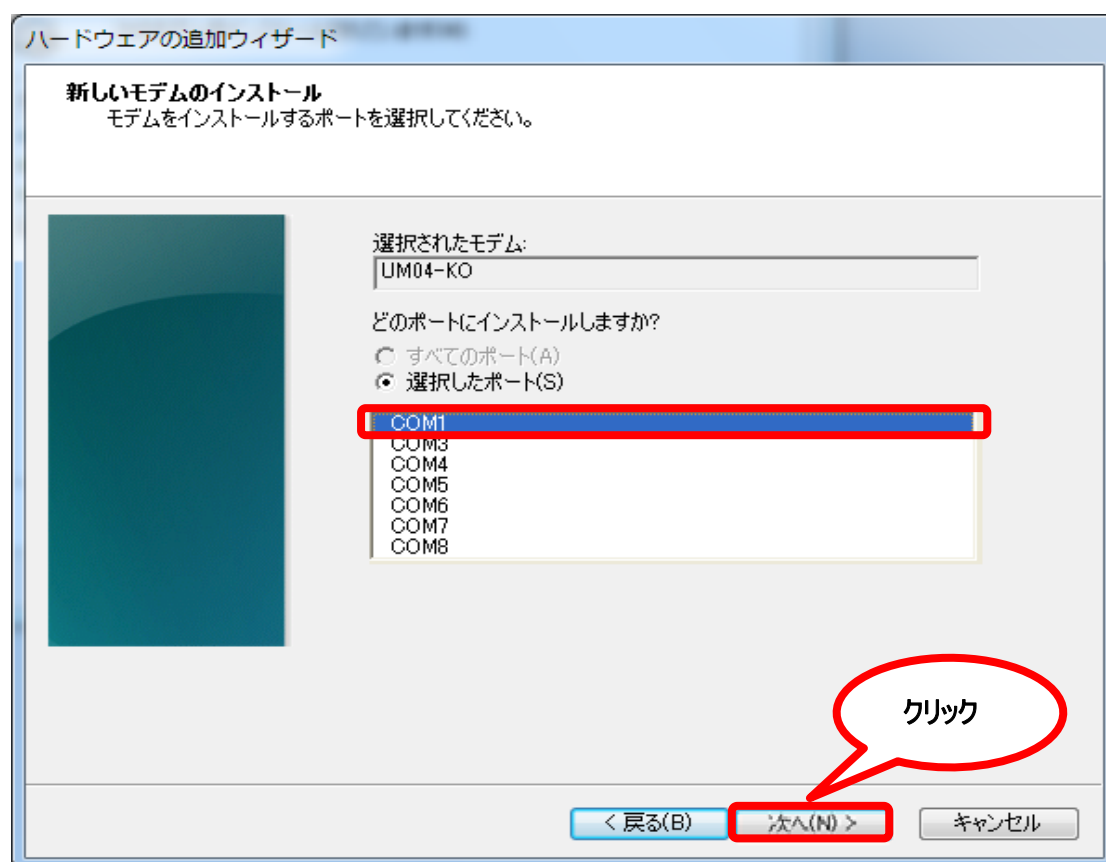


図6.1-8

「次へ」をクリック後、モデムのインストールが開始されます。

モデムのインストールが完了すると、図6.1-9の画面が表示されます。

以上でモデム(UM04-KO)のインストールは完了です。「完了」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

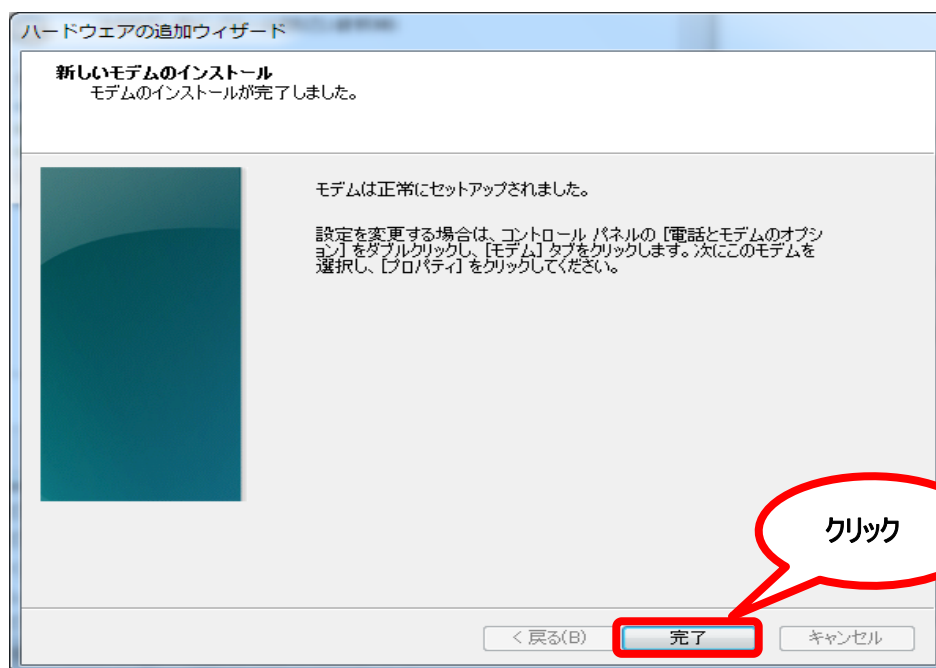


図6.1-9

「電話とモデム」ウィンドウに、追加したモデムが表示されていれば、モデムは正常にインストールされています。
「OK」ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます(図6.1-10)。

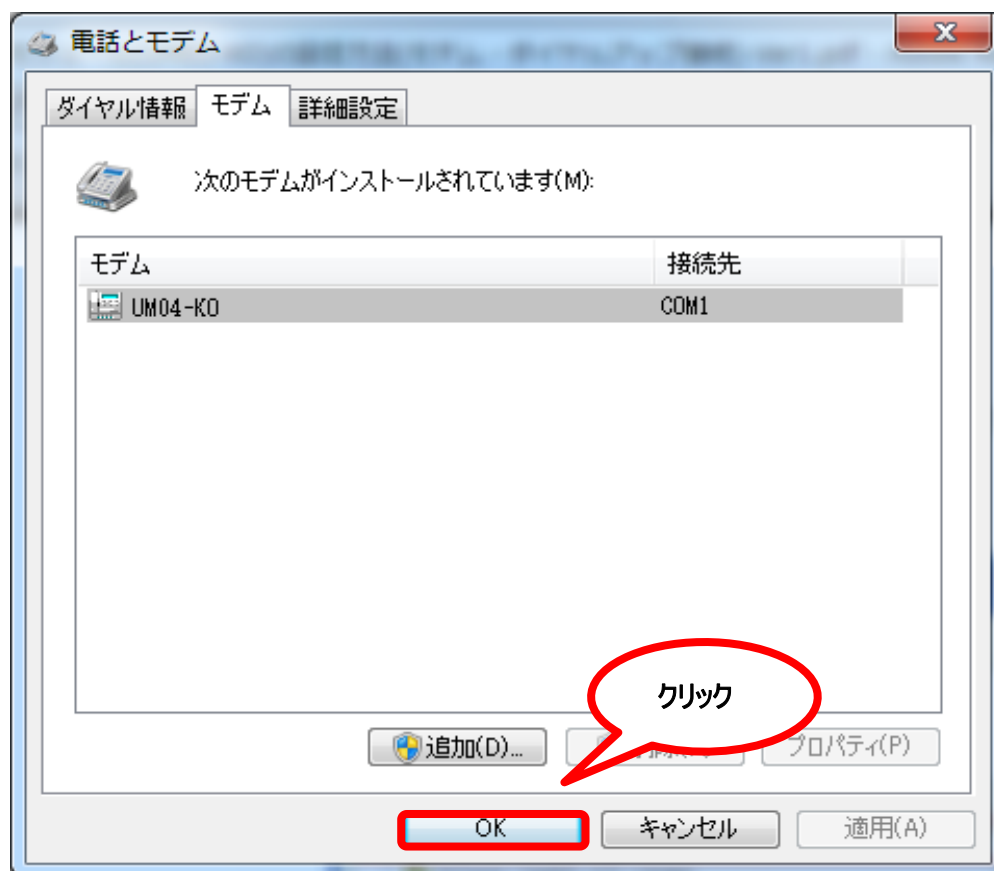


図6.1-10

6.2. ダイアルアップ接続プロファイルの作成

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させ、表示方法から「大きいアイコン」を選択します。表示されたコントロールパネルにおいて、「ネットワークと共有センター」をクリックします（図6.2-1）。

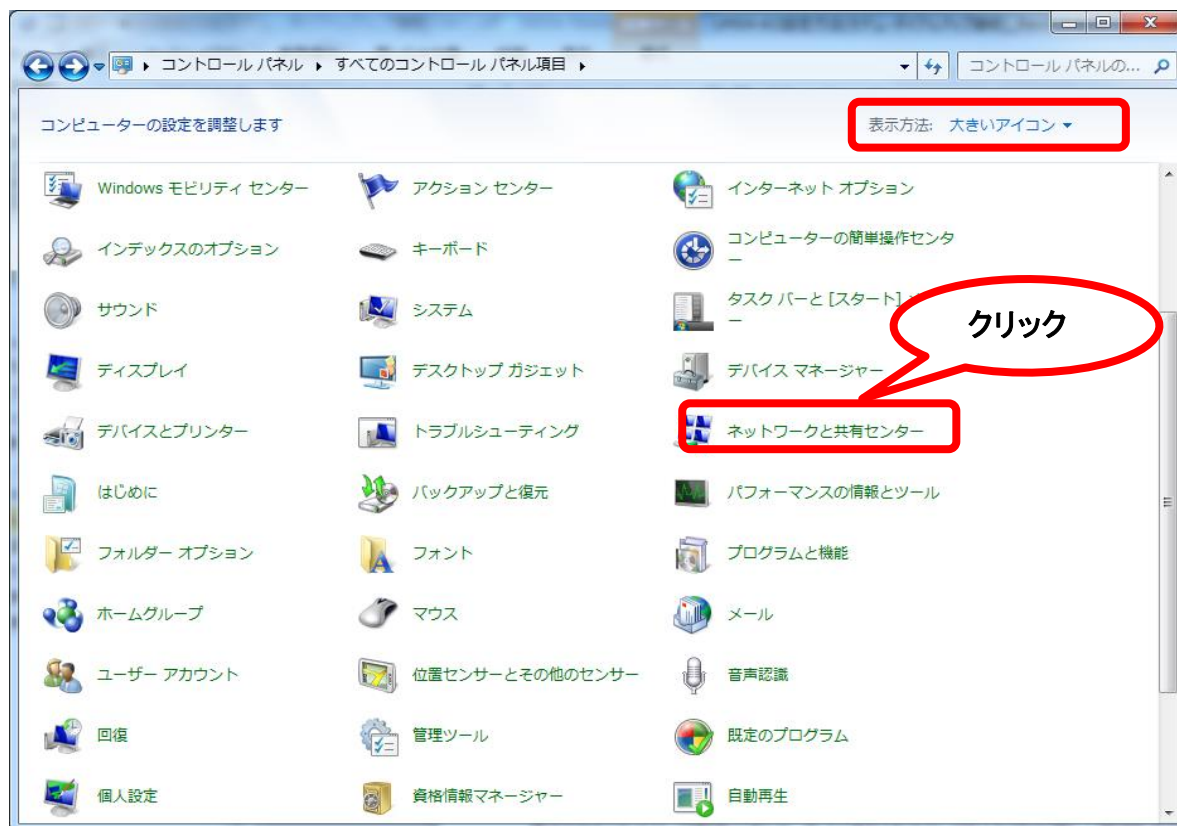


図6.2-1

「ネットワークと共有センター」が表示されますので、続けて「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします（図6.2-2）。



図6.2-2

表示された「新しい接続またはネットワークのセットアップ」において、「インターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックします（図6.2-3）。

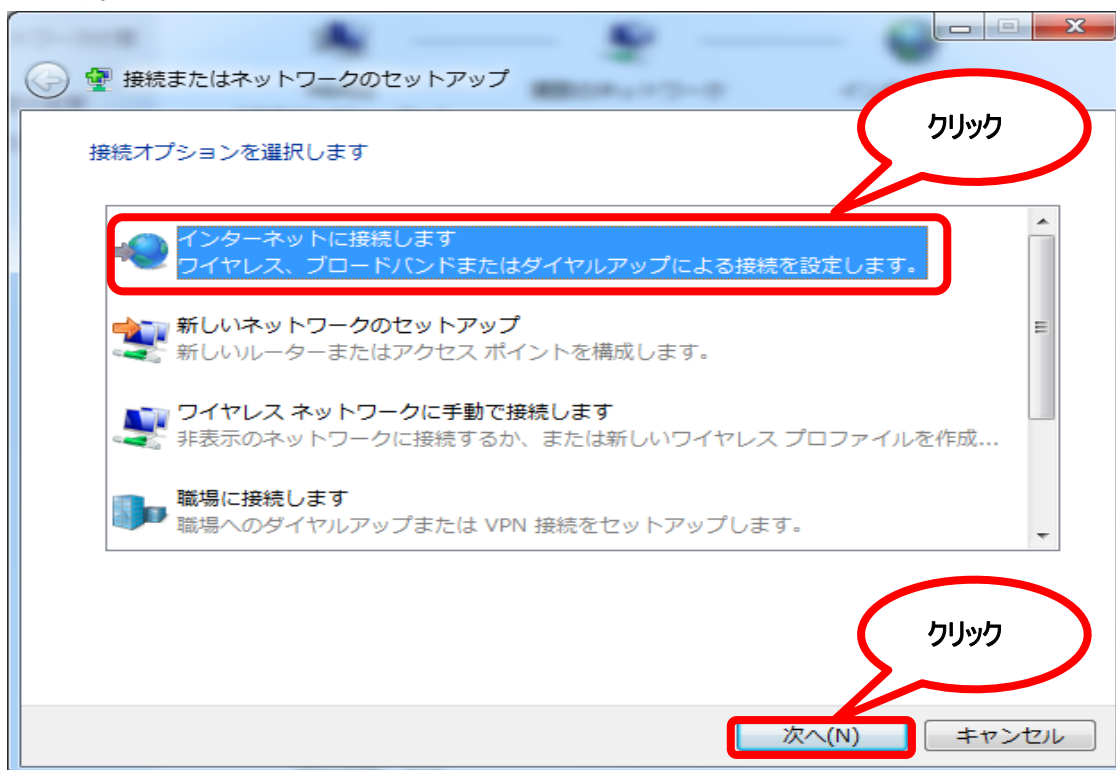


図6.2-3

既にダイヤルアップ接続などの設定がある場合は、下記画面になります。
「いいえ、新しい接続を作成します」を選択し、「次へ」をクリックします(図6.2-4)。

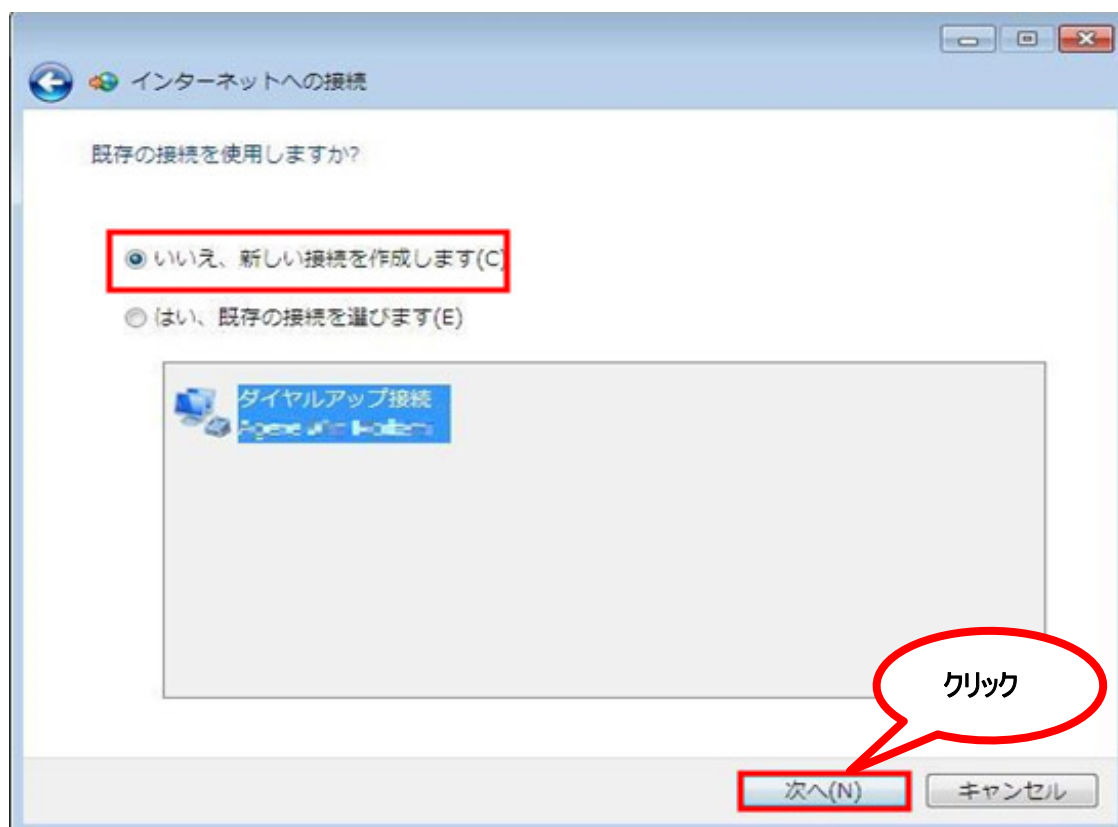


図6.2-4

「接続方法」を選択する画面が表示されますので、ここでは「ダイヤルアップ」をクリックします(図6.2-5)。

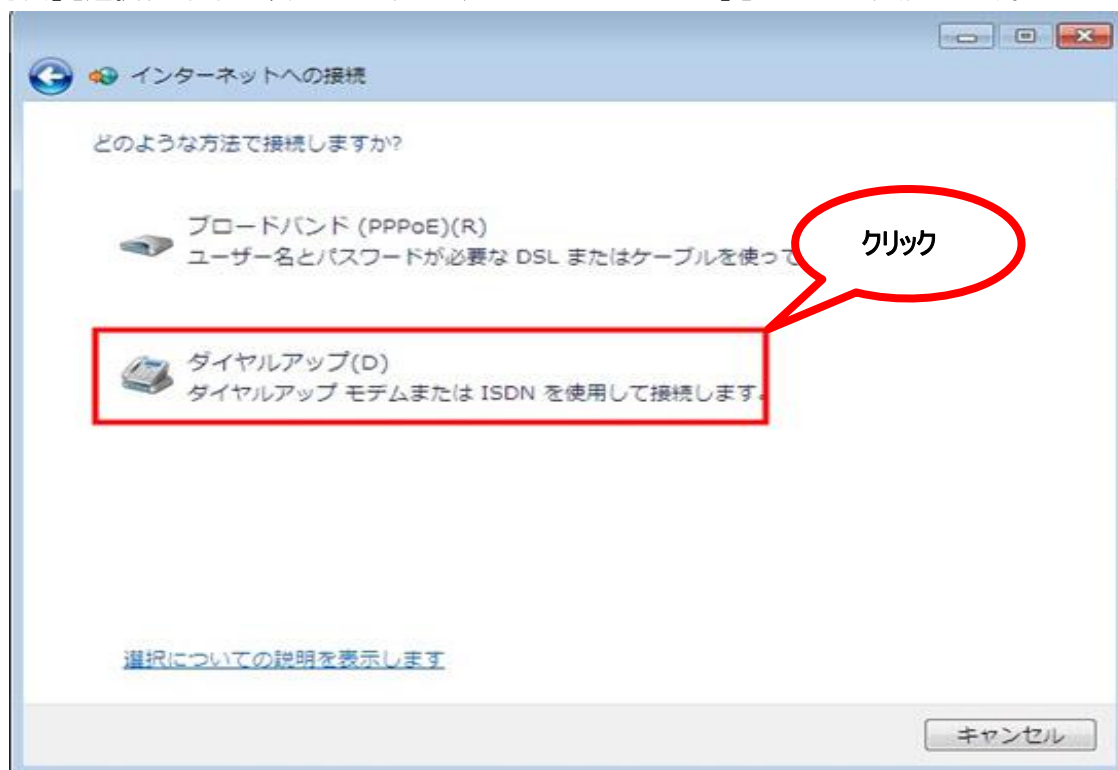


図6.2-5

※モデム選択画面が表示された場合は、この接続で使用するモデムを選択します。

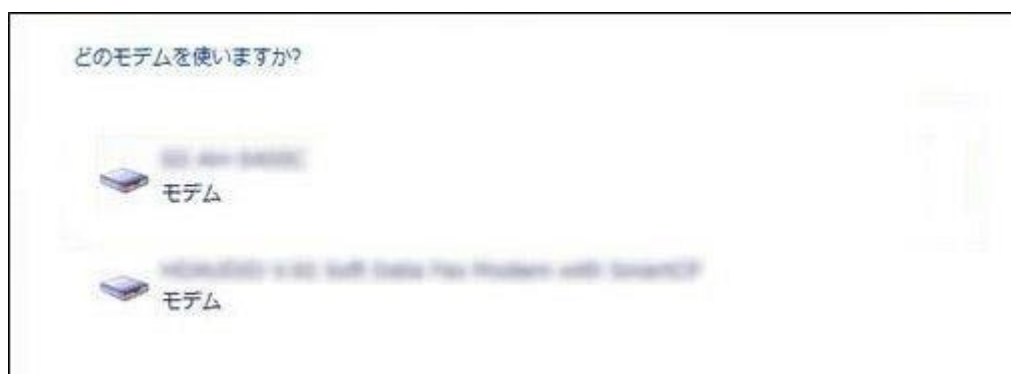


図6.2-6

※図6.2-7の画面になるような場合は、利用しているPCにダイヤルアップ用モデムが無い場合や、ダイヤルアップ用モデムを正しくPC上で認識していない場合となります。

ダイヤルアップ用モデムが正しくインストールされているかどうか確認をしてください。

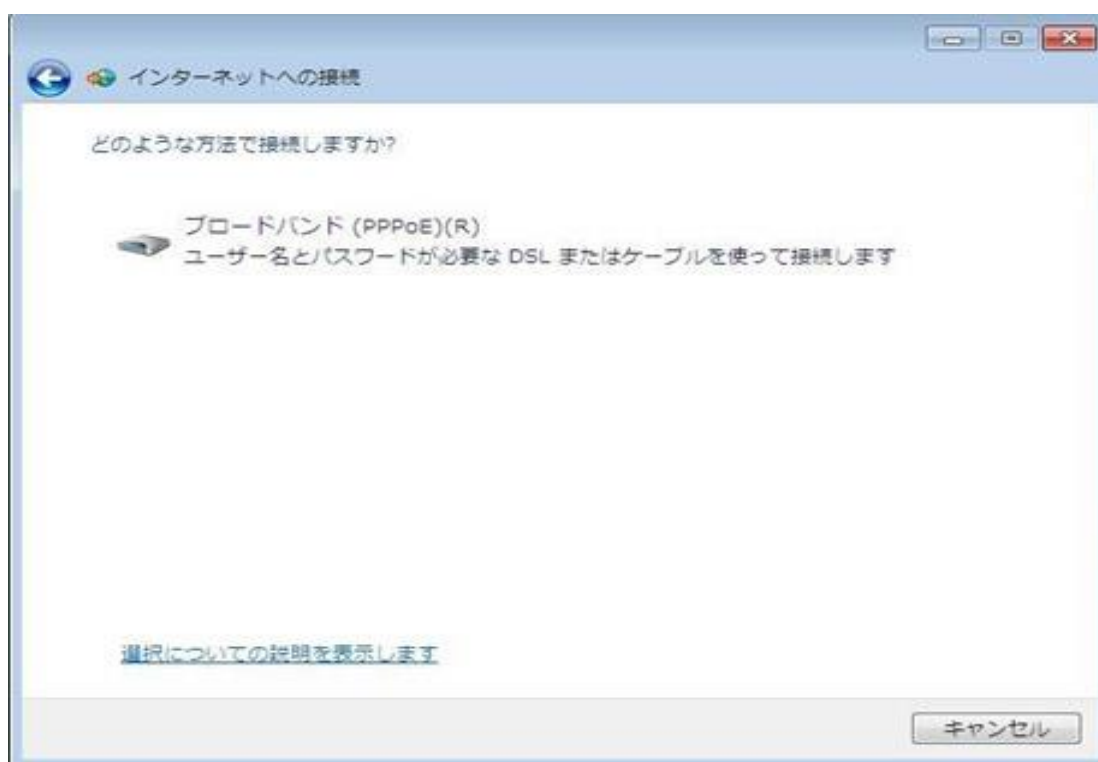


図6.2-7

インターネットサービスプロバイダ(以下、ISPと表記)の情報入力画面が表示され、ダイヤルアップ接続を行うISPを設定します(図6.2-8)。

ここではドコモの「moperaU」を利用してダイヤルアップ接続を行うものとして説明します。

※その他のISPにダイヤルアップ接続を行う場合、そのISPが定めるセットアップ方法にしたがってダイヤルアップ接続の設定を行ってください。なお、利用するプロバイダは高速パケット通信に対応している必要があります。

※装置ネットワークなど限定されたネットワークに接続する場合には、該当するネットワークの設定方法にしたがってセットアップ接続の設定を行ってください。

まず、ダイヤルアップ接続先の電話番号を設定します。

ここでは引き続き、ドコモの「moperaU」を利用する場合の電話番号を例に設定を行います。

※あらかじめ、モデム(UM04-KO)に「moperaU」への接続設定(APN設定)を行っておく必要があります。

(出荷状態ではモデム(UM04-KO)にはAPNの設定は行われておりません。)

「UM04-KO 取扱説明書」を参考にして、お客様でAPNの設定を行っておいてください。

ダイヤルする電話番号として、「ダイヤルアップの電話番号」に「*99***1#」と半角文字で入力してください。

※上記の電話番号「*99***1#」は、モデム(UM04-KO)に「moperaU」への接続設定をCID1に登録した場合の番号です。

他のCIDに登録を行った場合には、「*99***△#」(△にはAPN設定時に登録したCID番号(1~20)を入力)として、電話番号を入力してください。

詳しくは、「UM04-KO 取扱説明書」を参照してください。

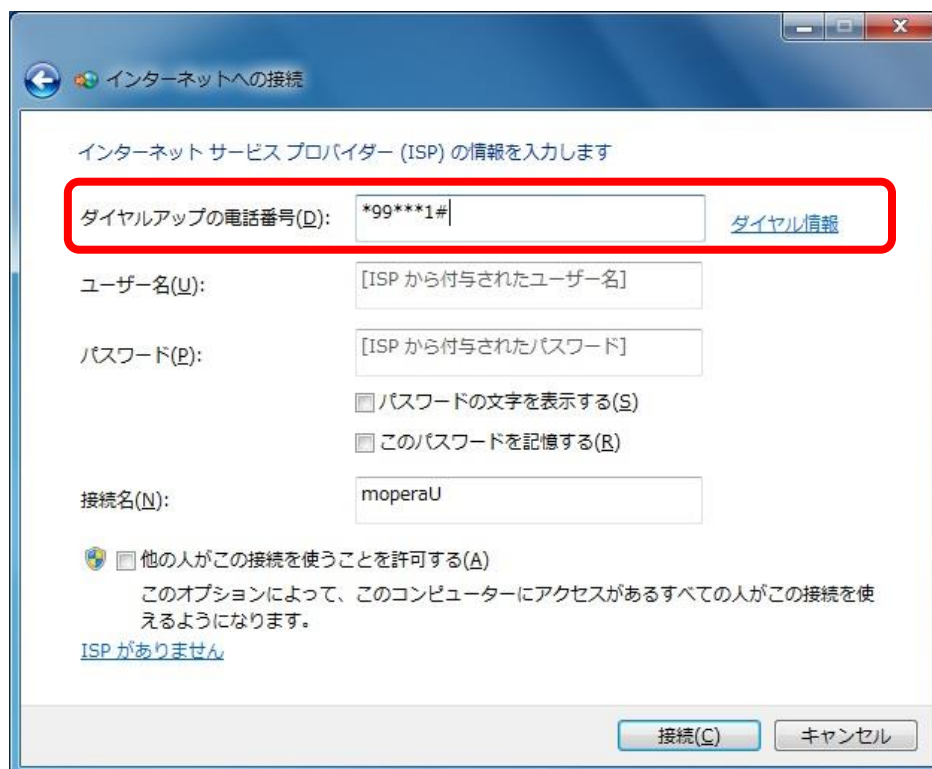


図6.2-8

【参考】

- ・ APNの登録はATコマンド操作で行います。
- ・ 詳しくは「UM04-KO 取扱説明書」に記述されている、ATコマンド「AT+CGDCONT」の使用方法を参照してください。

※その他のISPにダイヤルアップ接続を行う場合、「高速パケット通信対応」のアクセスポイントの設定を行ってください。

設定の際にはそのISPが定めるセットアップ方法にしたがってダイヤルアップ接続の設定を行ってください。

また、モデム(UM04-KO)に利用するISPへの接続設定(APN設定)を行っておく必要があります。「UM04-KO 取扱説明書」を参考にして、お客様でAPNの設定を行っておいてください。

※装置ネットワークなど限定されたネットワークに接続する場合には、該当するネットワークの設定方法にしたがってセットアップ接続の設定を行ってください。

また、モデム(UM04-KO)に利用するネットワークへの接続設定(APN設定)を行っておく必要があります。

「UM04-KO 取扱説明書」を参考にして、お客様でAPNの設定を行っておいてください。

次に、インターネット アカウント情報を設定します。

「moperaU」を利用する場合には、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は必要ありません。

したがって、図6.2-9内の「ユーザー名」・「パスワード」・「パスワードの確認入力」欄はそれぞれ空欄のままとします。

インターネット サービス プロバイダー (ISP) の情報を入力します

ダイヤルアップの電話番号(D): *99***1# [ダイヤル情報](#)

ユーザー名(U): [ISP から付与されたユーザー名]

パスワード(P): [ISP から付与されたパスワード]

☐ パスワードの文字を表示する(S)

☐ このパスワードを記憶する(R)

接続名(N): moperaU

☐ 他の人がこの接続を使うことを許可する(A)
このオプションによって、このコンピューターにアクセスがあるすべての人がこの接続を使えるようになります。
[ISP がありません](#)

[接続\(C\)](#) [キャンセル](#)

図6.2-9

※moperaU以外のISPにダイヤルアップ接続を行う場合などのアクセス先が「ユーザー名」・「パスワード」を必要とする場合は、そのISPが定めるセットアップ方法にしたがって「ユーザー名」・「パスワード」の情報を入力してください。

接続名は、ISP名「moperaU」と入力します。

(補足:ISP名は接続動作には関係ありませんので、任意の名前を入力することが可能です)

接続名入力後、「接続」ボタンをクリックします(図6.2-10)。

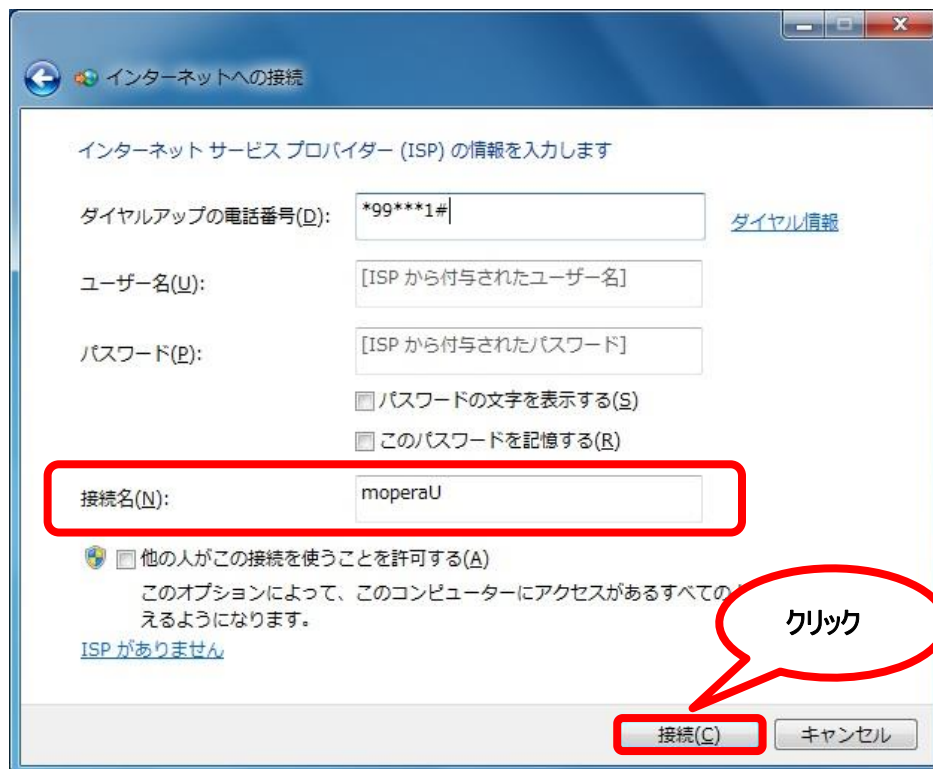


図6.2-10

「moperaUに接続中...」の画面が表示されます。(図6.2-11)

ここでは、接続を行わないため、「スキップ」をクリックします。

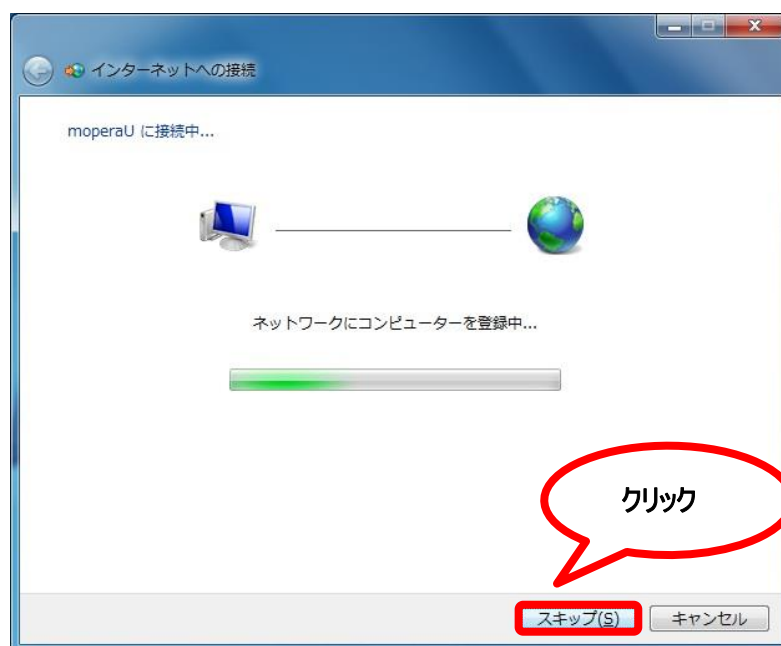


図6.2-11

「接続の使用準備ができました」の画面が表示されます。(図6.2-12)

ここでは、接続を行わないため、「閉じる」をクリックします。

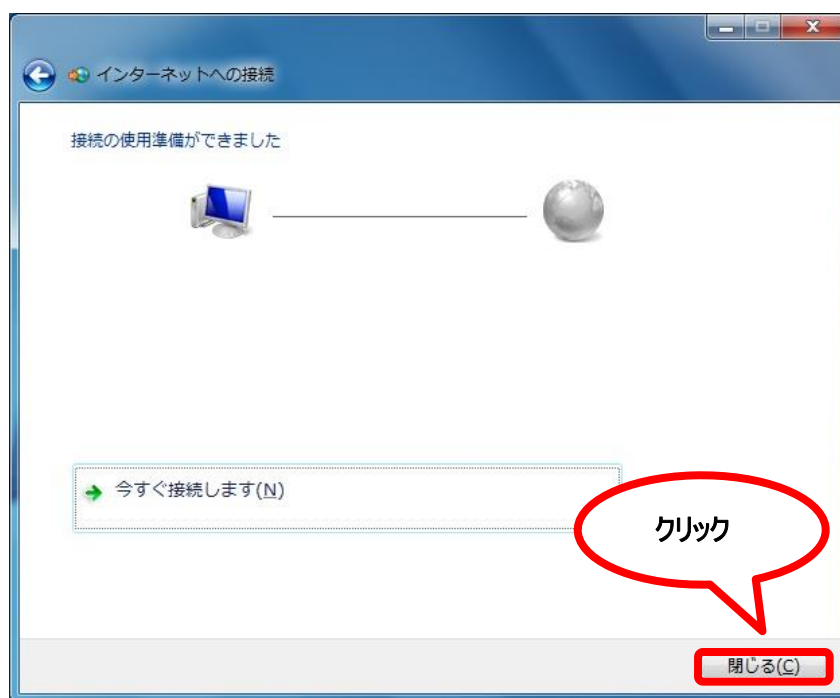


図6.2-12

以上でダイヤルアップ接続プロファイルの作成は完了です。

6.3. モデム設定・接続プロファイルの設定・確認

6.1および6.2でインストールしたモデムの設定、および作成したダイヤルアップ接続プロファイル「moperaU」の設定を確認します。

モデムの設定では、モデムの通信速度などを設定・確認します。

接続プロファイルの設定では、接続プロファイルのハードウェア機能、通信速度やネットワーク設定などを設定・確認します。

6.3.1. モデム(UM04-KO)の設定・確認

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させ、表示方法から「大きいアイコン」を選択します。表示されたコントロールパネルにおいて、「電話とモデム」をクリックします(図6.3.1-1)。

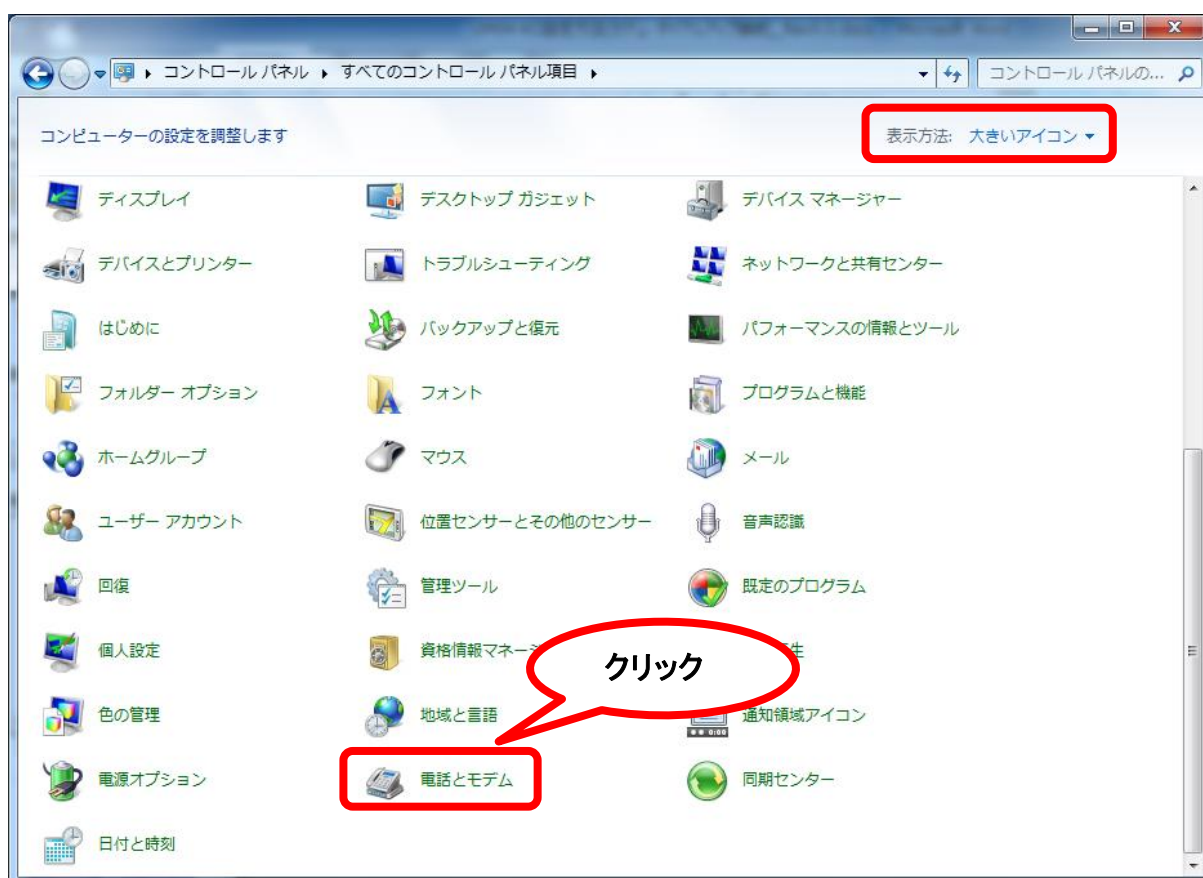


図6.3-1

「電話とモデム」ウィンドウが表示されますので、続けて「モデム」タブを選択し、モデム(UM04-KO)を選択し、「プロパティ」をクリックします(図6.3.1-2)。

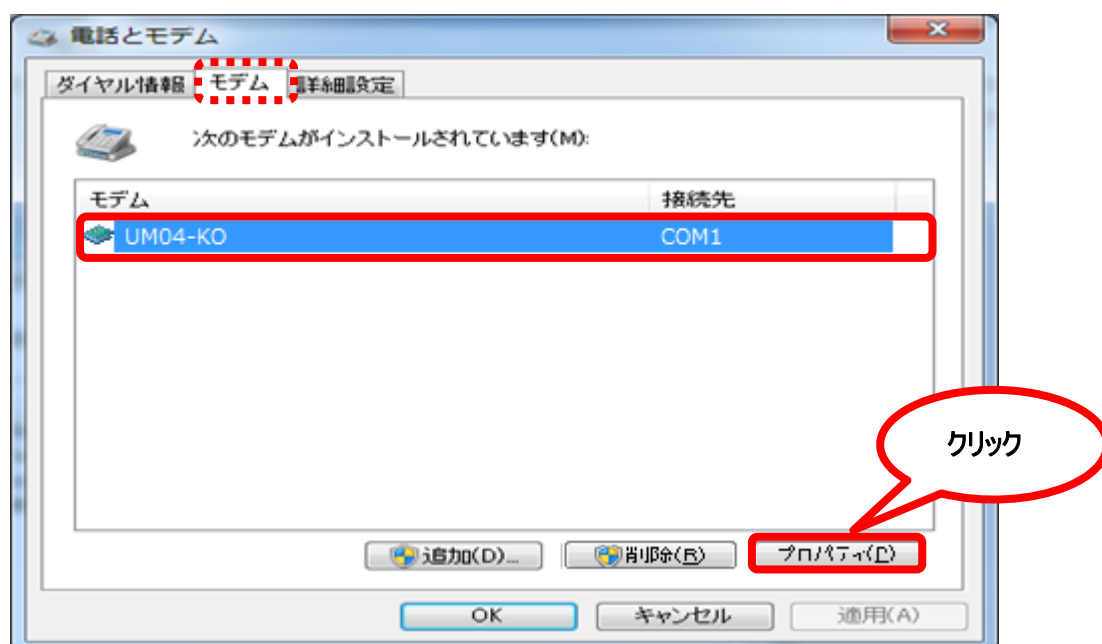


図6.3-2

「UM04-KOのプロパティ」が表示されますので、「設定の変更」をクリックします。(図6.3.1-3)。

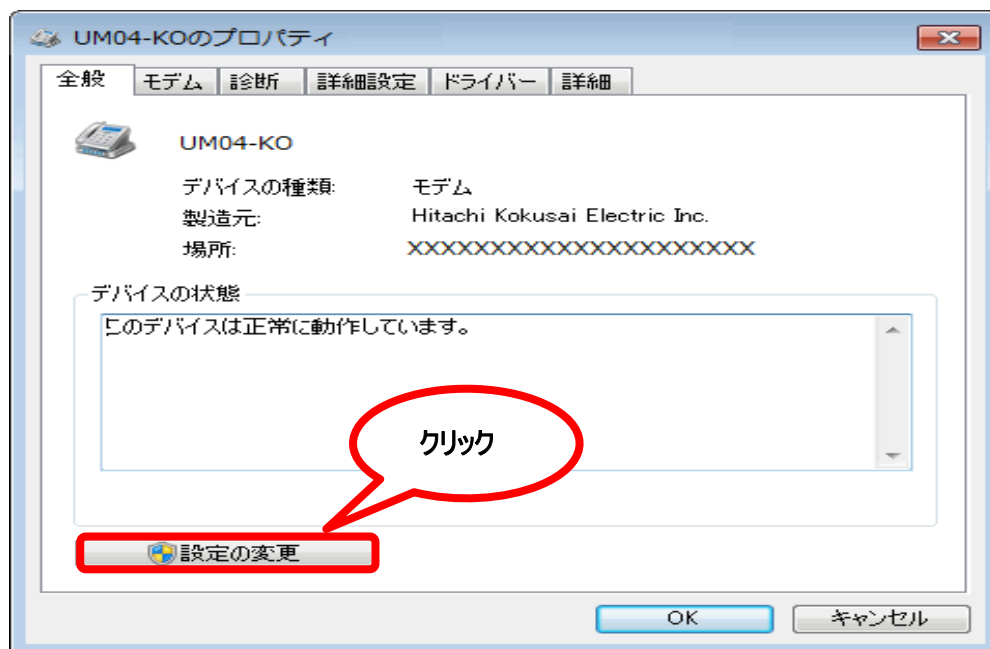


図6.3-3

※本モデムの製造元である株式会社日立国際電気(Hitachi Kokusai Electric Inc.)は、2024年12月27日に株式会社国際電気(KOKUSAI DENKI Electric Inc.)となりました。

「設定の変更」が消え、各タブの設定値の変更が可能になります(図6.3.1-4)。

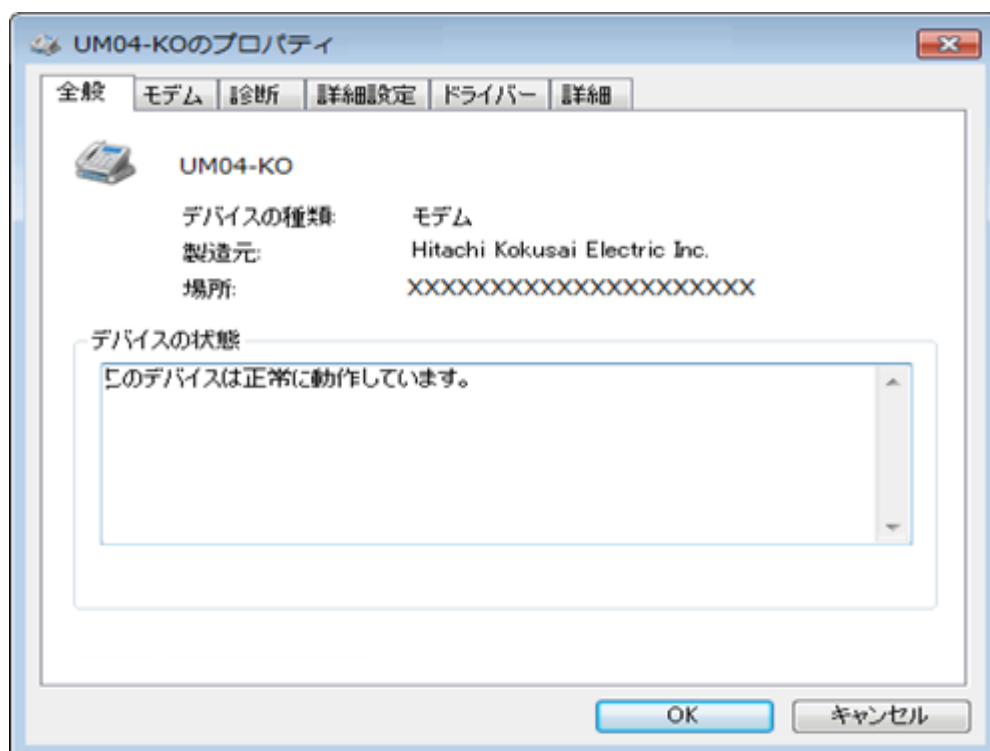


図6.3-4

※本モデムの製造元である株式会社日立国際電気(Hitachi Kokusai Electric Inc.)は、2024年12月27日に株式会社国際電気(KOKUSAI DENKI Electric Inc.)となりました。

「UM04-KO のプロパティ」において、以下の項目を設定・確認します。

- a) ポートの最高速度
- b) フロー制御

a) ポートの最高速度

「モデム」タブをクリックし「ポートの最高速度」を設定します。設定する値は、「UM03-KO接続用治具」に設定したシリアル通信速度と同じ値に設定してください。(図6.3.1-5)

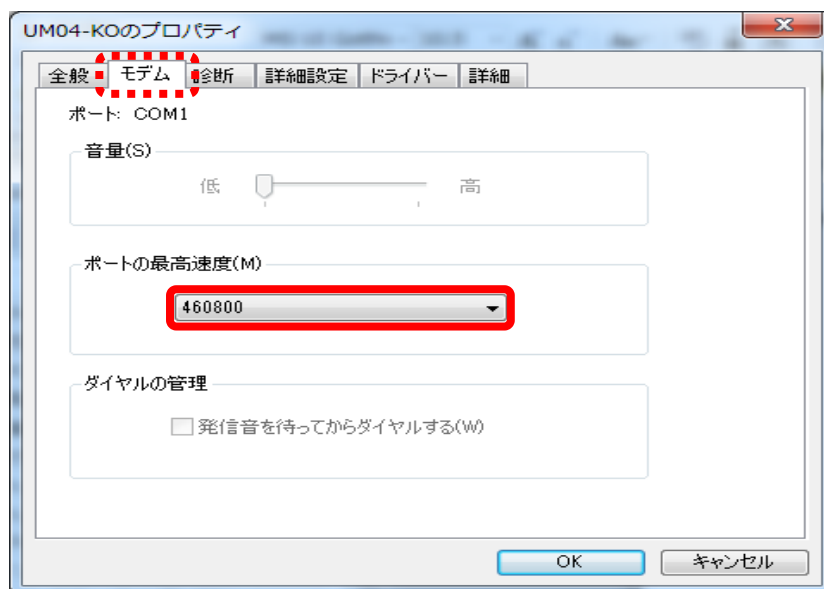


図6.3-5

b) フロー制御

「詳細設定」タブをクリックし「フロー制御」を設定・確認します。

「詳細設定」タブにある「既定の設定を変更」ボタンをクリックしてください(図6.3.1-6)。

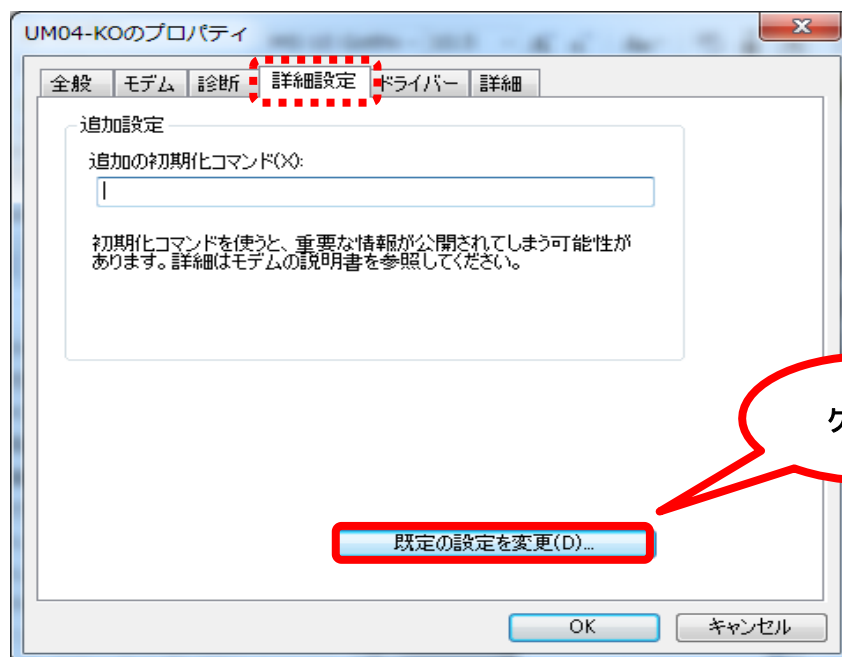


図6.3-6

「既定の設定を変更」ボタンをクリックすると「UM04-KO 既定の設定」ウィンドウが表示されます。

「UM04-KO 既定の設定」において、「フロー制御」を設定します。設定する値は、モデム(UM04-KO)に設定した値と同じ値に設定してください。(図6.3.1-7)

※ モデム(UM04-KO)におけるフロー制御の設定については、「UM04-KO 取扱説明書」を参照してください。

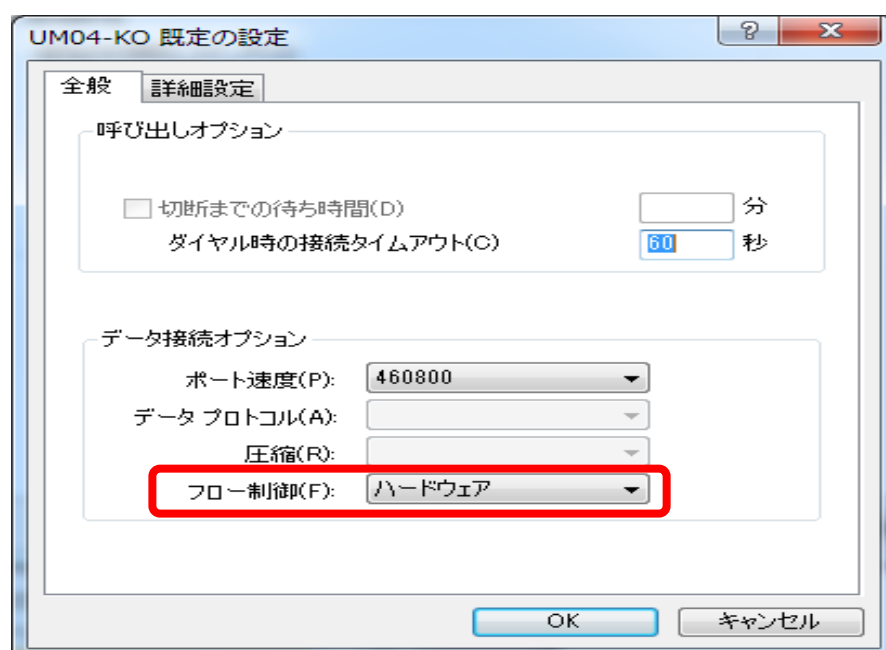


図6.3-7

続けて「UM04-KO 既定の設定」ウィンドウにおいて、「詳細設定」タブを表示させます。

「詳細設定」に表示された「ハードウェアの設定」(データビット・パリティ・ストップビット)の値がそれぞれ、図6.3.1-8に示した値になっているか、確認してください。

データビット: 8

パリティ: なし

ストップビット: 1

正しく設定されていることを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

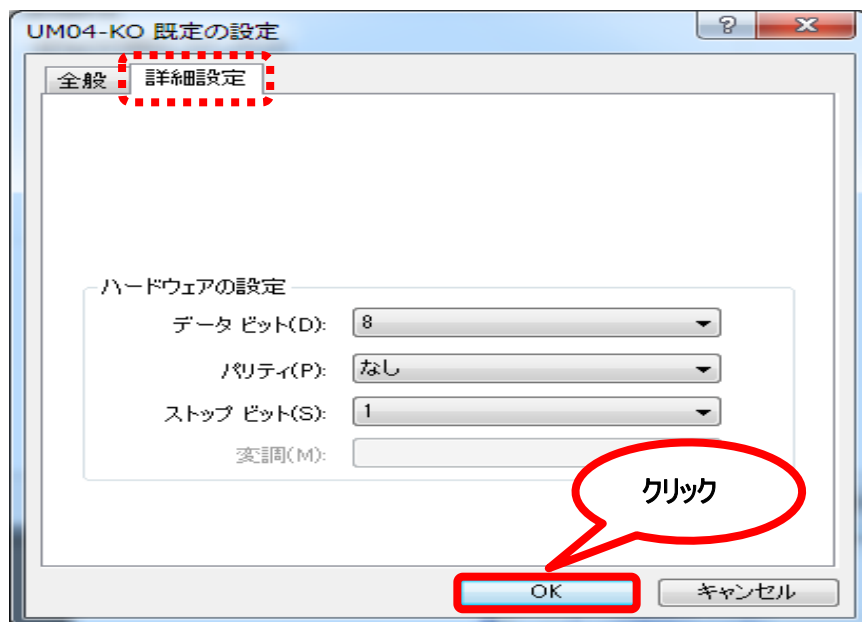


図6.3-8

「OK」ボタンをクリックして「UM04-KOのプロパティ」ウィンドウを閉じてください(図6.3.1-9)。

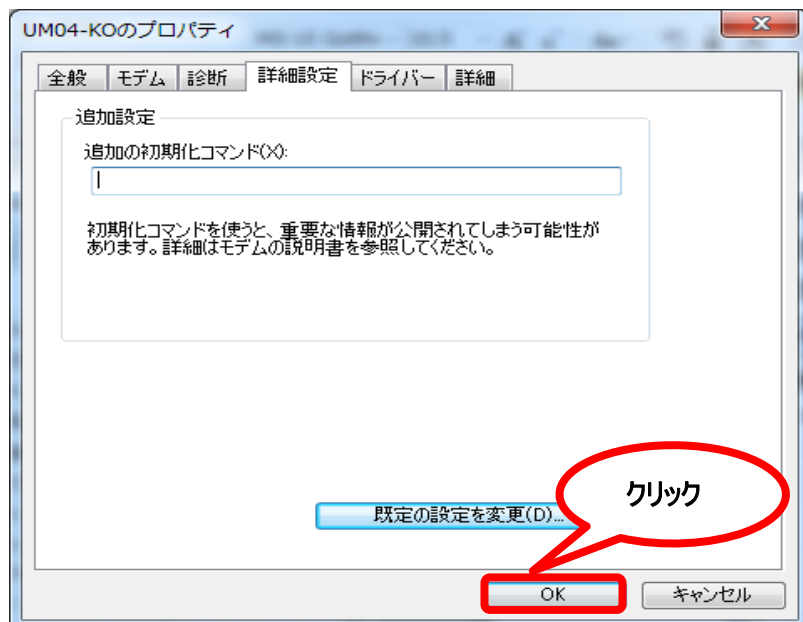


図6.3-9

続けて、表示されている「電話とモデム」ウィンドウを「OK」ボタンをクリックして閉じてください(図6.3.1-10)。

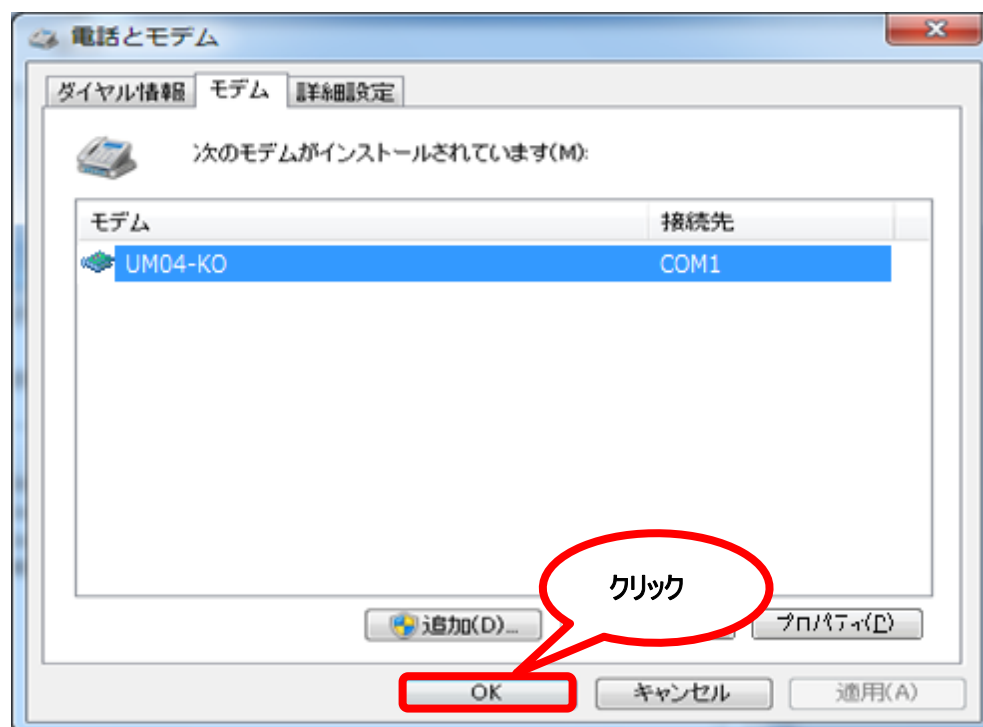


図6.3-10

以上で「モデム(UM04-KO)の設定・確認」は終了です。

6.3.2. 接続プロファイル・ハードウェア機能、通信速度の設定・確認

「6.2 ダイアルアップ接続プロファイルの作成」で作成したダイアルアップ接続プロファイル「moperaU」の設定・確認を行います。

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。

表示されたコントロールパネルにおいて、「ネットワークと共有センター」をクリックします(図6.3.2-1)。

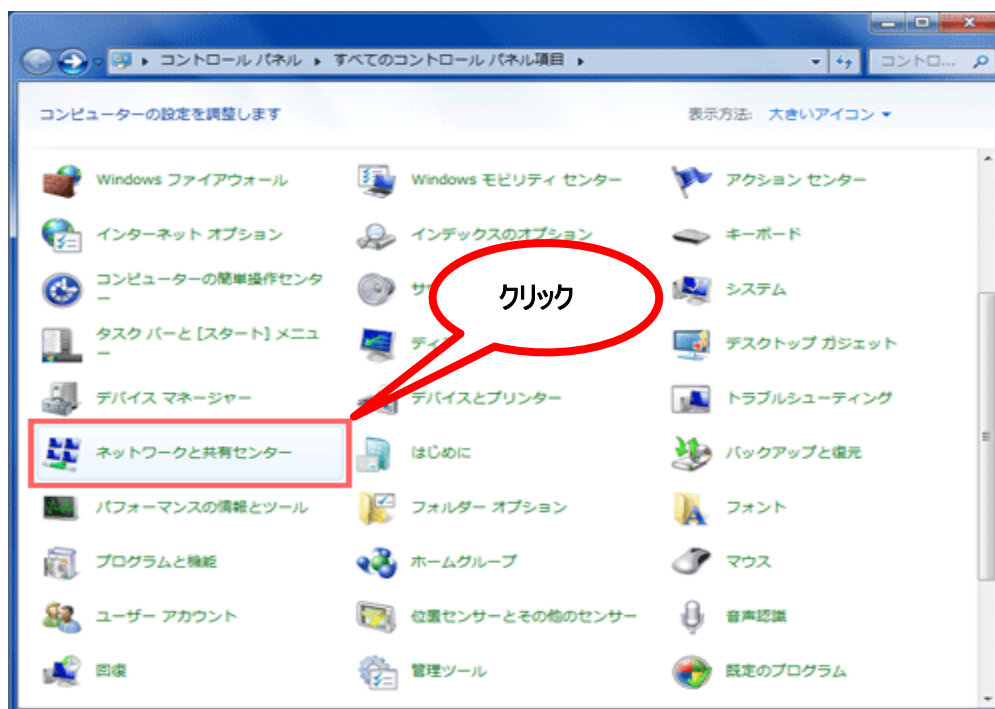


図6.3-11

「ネットワークと共有センター」が表示されますので、「アダプターの設定の変更」をクリックします(図6.3.2-2)。



図6.3-12

表示された「ネットワーク接続」において、「6.2 ダイアルアップ接続プロファイルの作成」で作成したダイヤルアップ接続プロファイル「moperaU」の設定・確認を行います。

「moperaU」のアイコン上で右クリックしてコンテキストメニューを表示させ、「プロパティ」をクリックしてください(図6.3.2-3)。

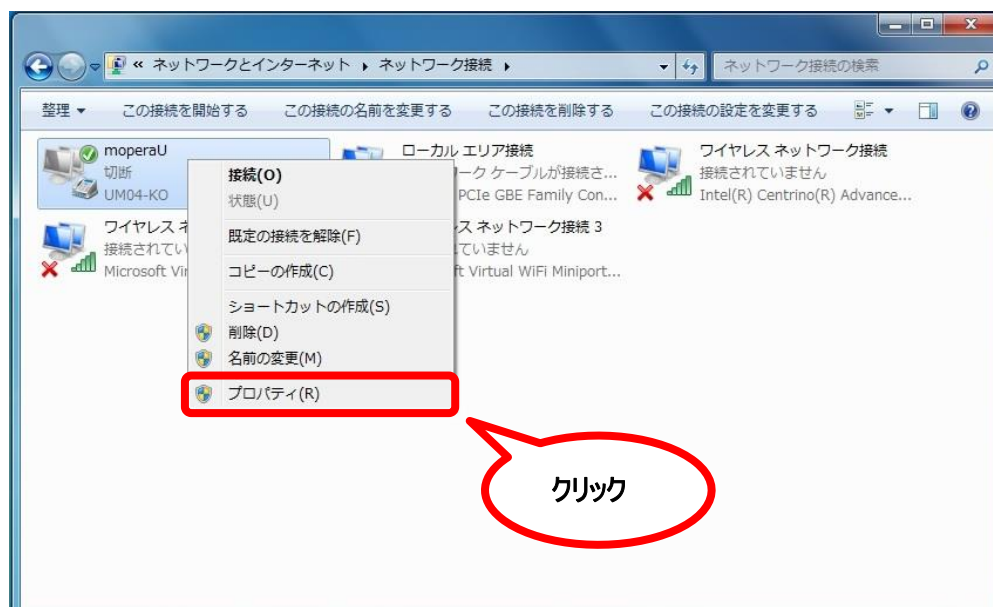


図6.3-13

表示された「moperaUのプロパティ」においてダイヤルアップ接続にて使用するモデム(UM04-KO)の設定を確認するために、モデム(UM04-KO)を選択した状態で「構成」ボタンをクリックします(図6.3.2-4)。

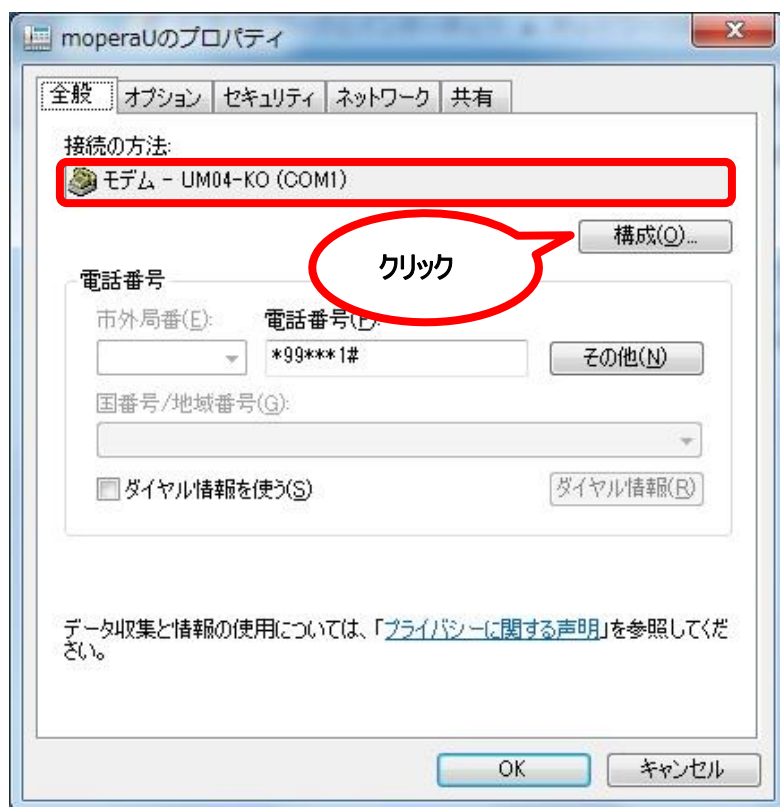


図6.3-14

表示された「モデムの構成」UM04-KOにおいて、「最高速度 (bps)」を設定してください(図6.3.2-5)。
設定する値は、「UM03-KO接続用治具」に設定したシリアル通信速度と同じ値に設定してください。
(図6.3.1-5「UM04-KOのプロパティ」にて設定されたポートの最高速度と同じ値を設定してください。)
※モデムのハードウェアフロー制御を使用する場合には、「ハードウェアの機能」欄の「ハードウェアフロー制御を行う」にチェックを入れます。この場合、「モデム (UM04-KO)」の設定もハードウェアフロー制御に設定してください。
(図6.3.1-7「UM04-KO 既定の設定」にて設定されたフロー制御と同じ設定にしてください。)
※「モデム (UM04-KO)」におけるフロー制御の設定については、「UM04-KO 取扱説明書」を参照してください。
設定が完了しましたら、「OK」ボタンをクリックして「モデムの構成」を閉じてください。

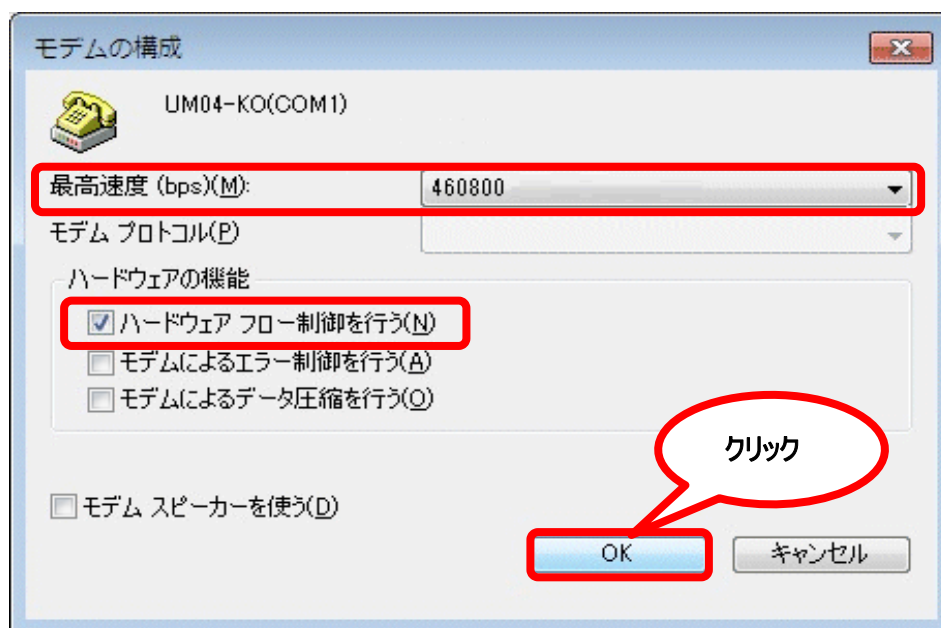


図6.3-15

6.3.3. 接続プロファイル・ネットワークの設定 (PPP 設定、TCP/IP 設定)

図6.3.2-4で表示させた「moperaUのプロパティ」において、「オプション」タブおよび「ネットワーク」タブをクリックして以下の設定・確認を行います。

- a)「moperaUのプロパティ」の「オプション」タブにおいては、PPP設定項目を設定・確認
- b)「moperaUのプロパティ」の「ネットワーク」タブにおいては、インターネットプロトコル(TCP/IP)設定・確認

a) PPP設定

「オプション」画面において、「PPP設定」をクリックします。(図6.3.3-1)。

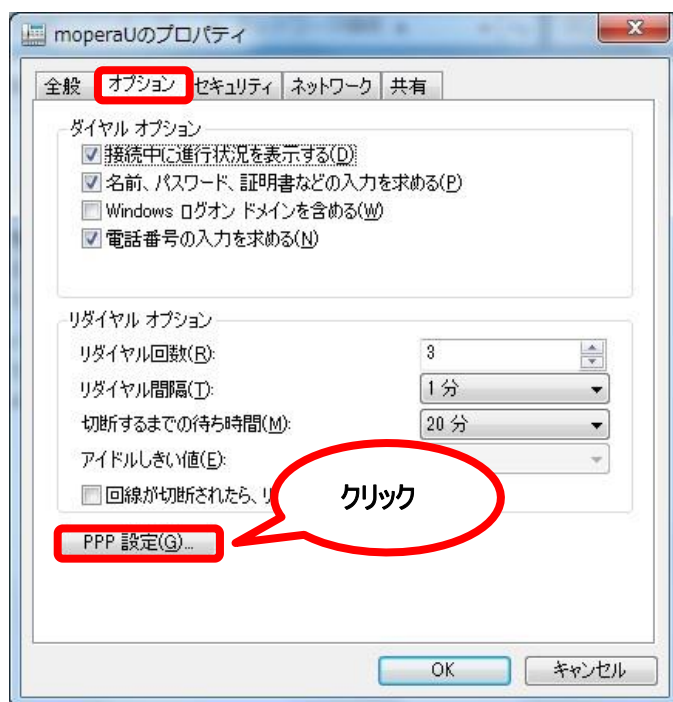


図6.3-16

表示された「PPP 設定」において、「LCP 拡張を使う」と「ソフトウェアによる圧縮を行う」のチェックを外してください。全てのチェックボックスが未チェックであることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。(図6.3.3-2)

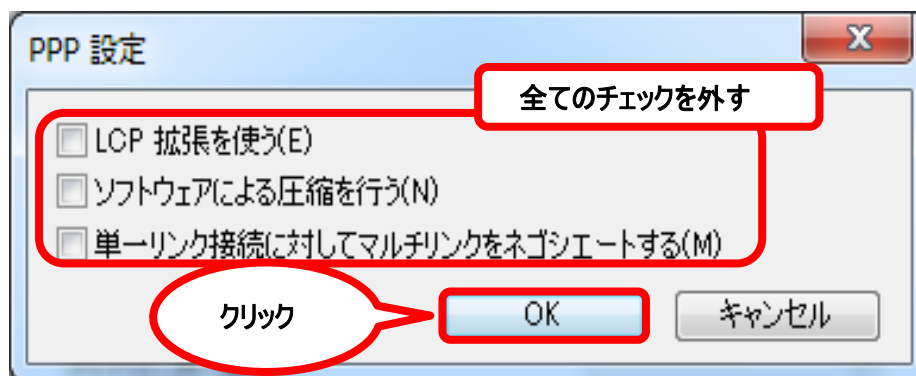


図6.3-17

b) インターネットプロトコル(TCP/IP) 設定

「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします(図6.3.3-3)。

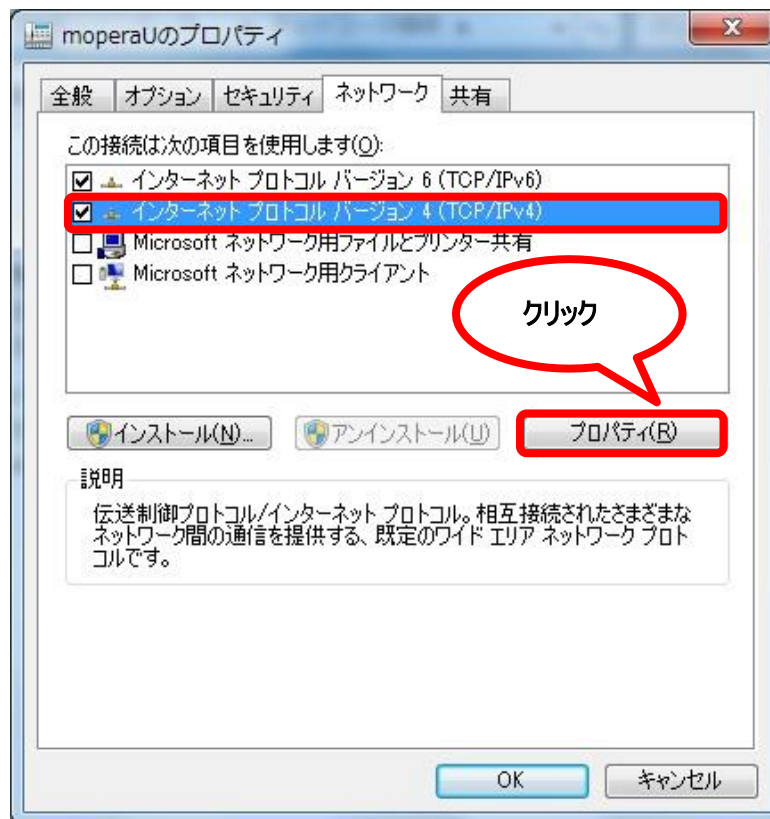


図6.3-18

表示された「インターネット プロトコル(TCP/IP)のプロパティ」において、「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」のラジオボタンがチェックされていることを確認してください。

それぞれのラジオボタンがチェックされていない場合には、図6.3.3-4を参考にそれぞれを設定してください。

※ドコモの「moperaU」以外のISPを利用してダイヤルアップ接続を行う場合には、利用するISPが定めるセットアップ方法にしたがって「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を設定してください。

※装置ネットワークなど限定されたネットワークに接続する場合には、該当するネットワークの設定方法にしたがって「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を設定してください。

設定を確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください(図6.3.3-4)。

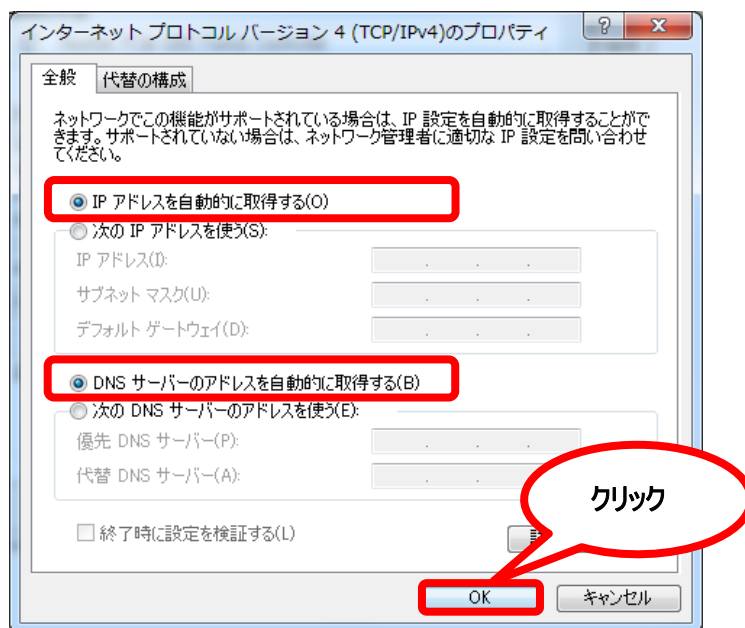


図6.3-19

以上で「モデム設定・接続プロファイルの設定・確認」が完了しました。

「OK」ボタンをクリックして、「moperaUのプロパティ」ウィンドウを閉じてください。(図6.3.3-5)

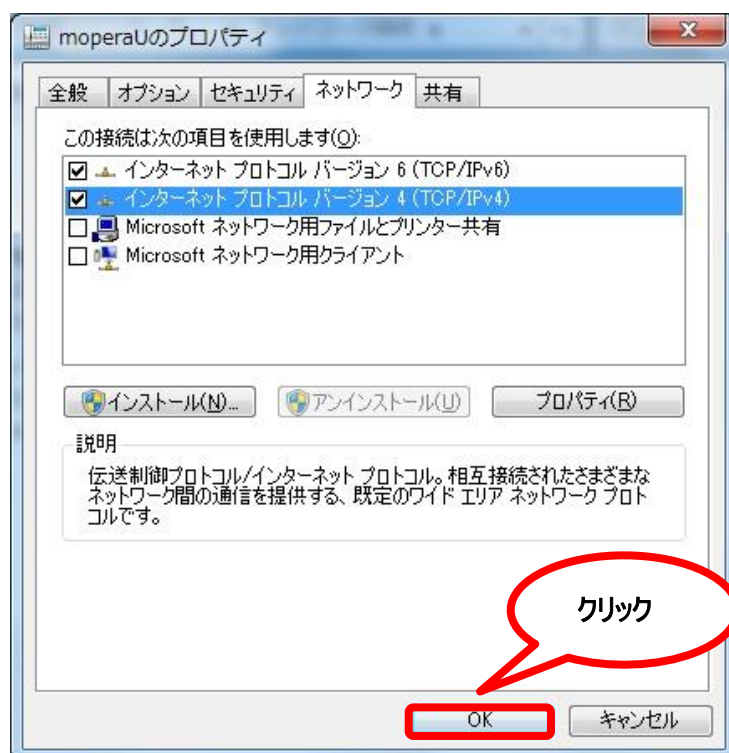


図6.3-20

7. Windows 8/Windows 8.1 環境の場合

7.1. モデム(UM04-KO)のインストール方法

※230.4kbpsもしくは460.8kbpsの高速通信を使用する場合には、インストールするPCにおいて高速シリアルインタフェースが使用可能な状態にしておいてください。(PC標準のシリアルインタフェースでは115.2kbpsまでになります。)

デスクトップにて、カーソルを右下に移動し、メニューを表示して「設定」をクリックします。

設定メニューを表示するので、コントロールパネルをクリックします(図7.1-1)。

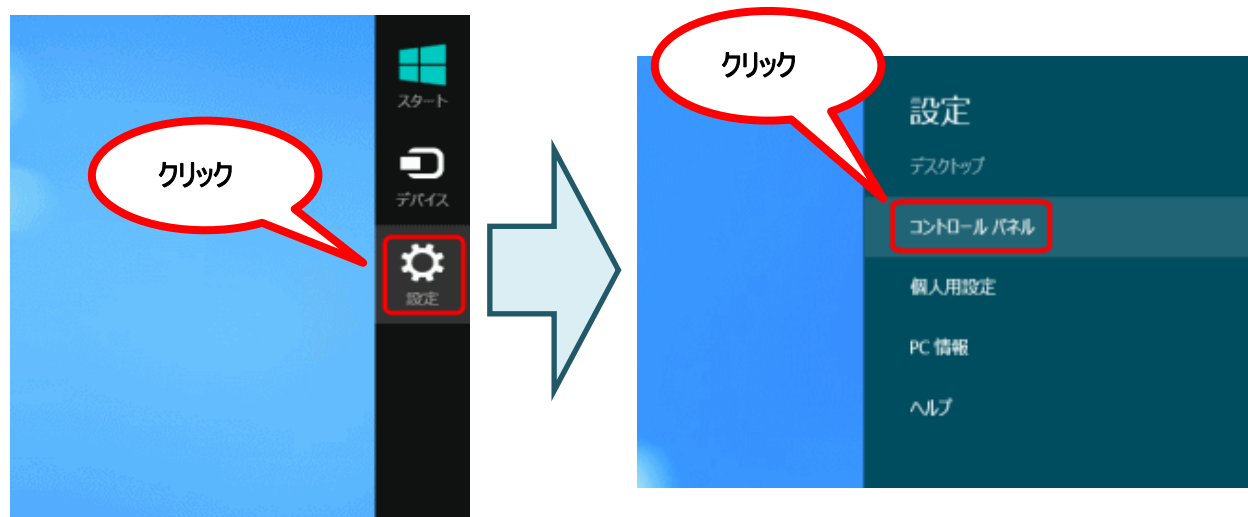


図7.1-1

表示されたコントロールパネルにおいて、「大きいアイコン」を選択し、「電話とモデム」をクリックします(図7.1-2)。

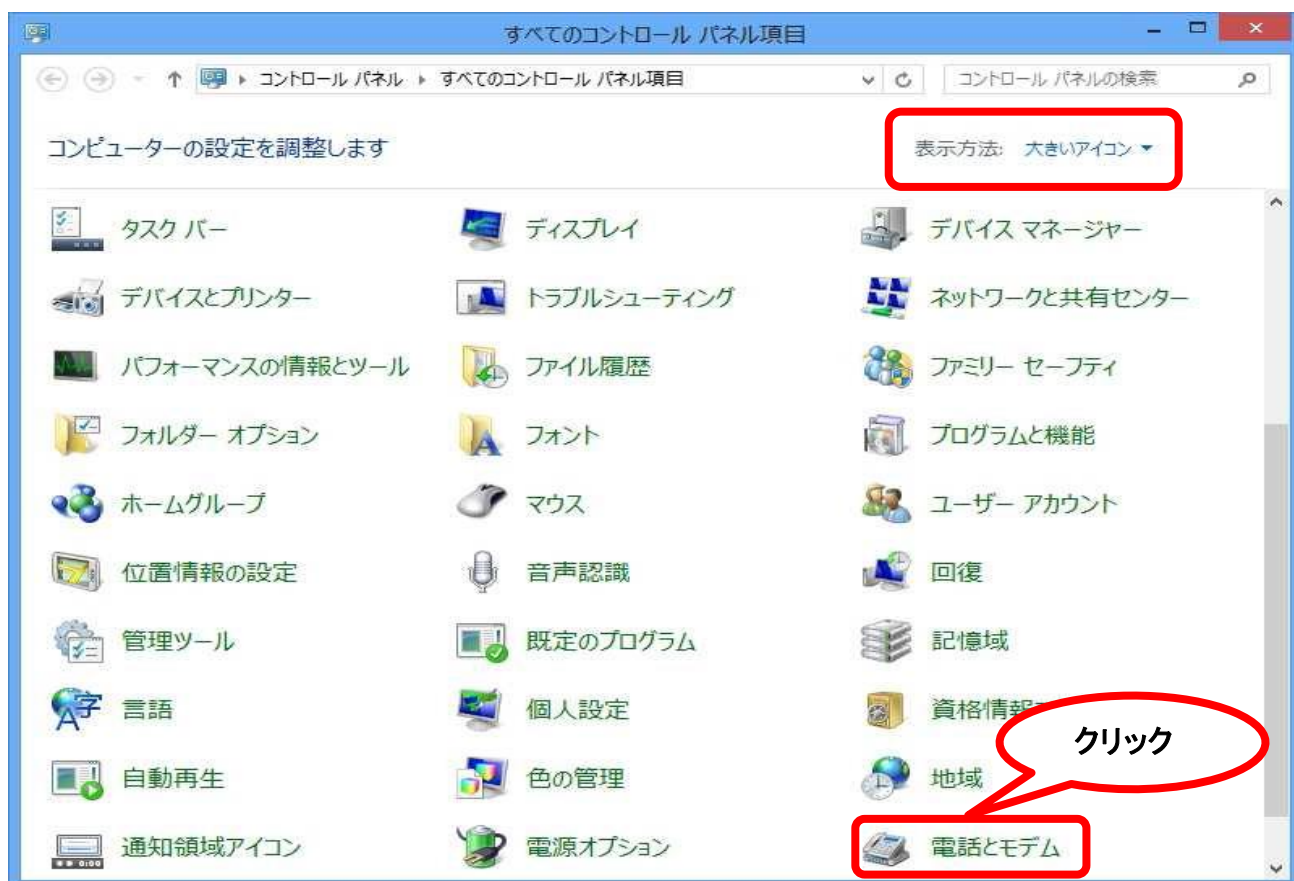


図7.1-2

「電話とモデム」ウィンドウが表示されますので、続けて「モデム」タブを選択し、「追加」ボタンをクリックして「ハードウェアの追加ウィザード」を表示させます(図7.1-3)。

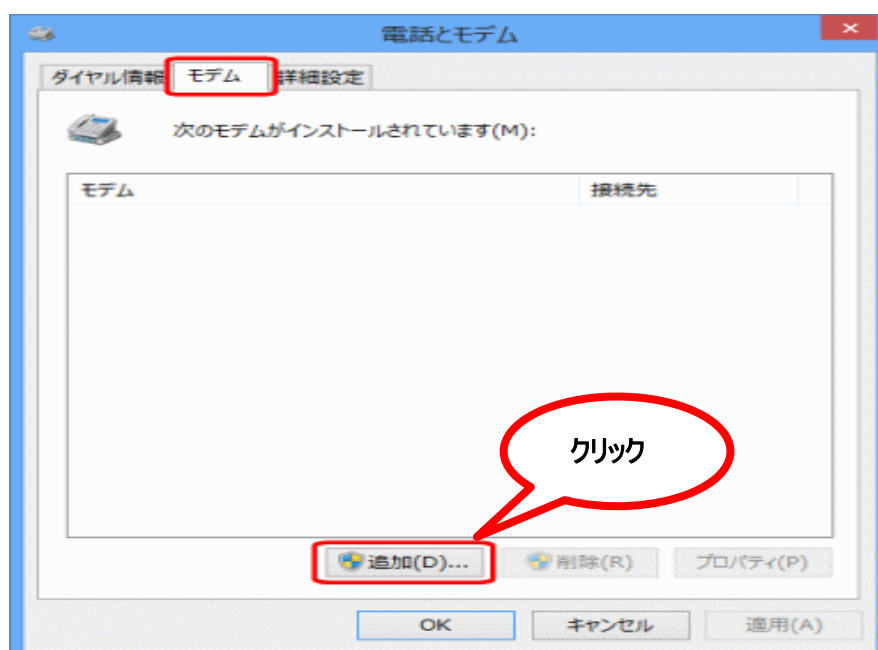


図7.1-3

「モデムを一覧から選択するので検出しない」にチェックをし、「次へ」をクリックします(図7.1-4)。

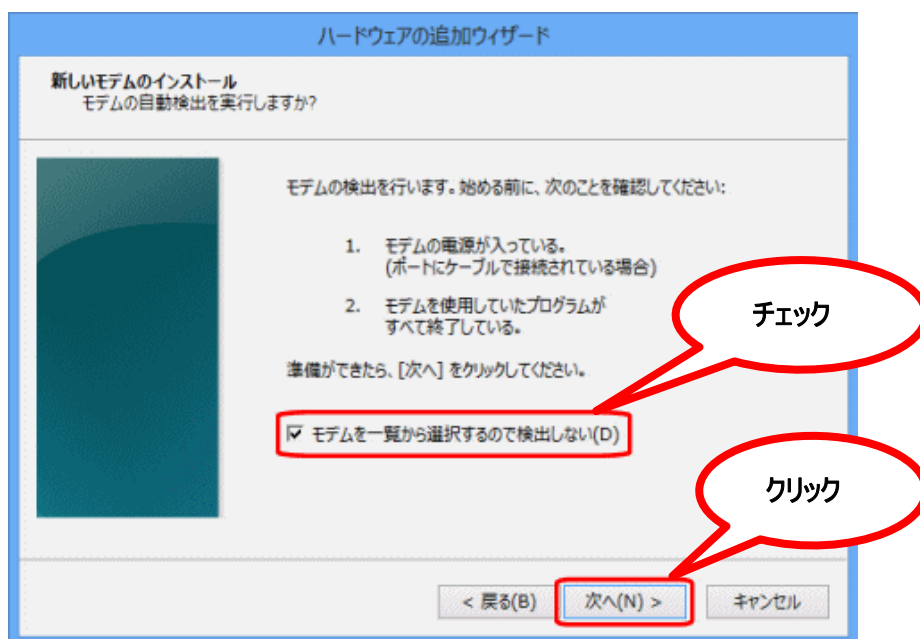


図7.1-4

モデムのインストールには「モデムセットアップ情報ファイル」を利用しますので、「ディスク使用」ボタンをクリックしてください(図7.1-5)。

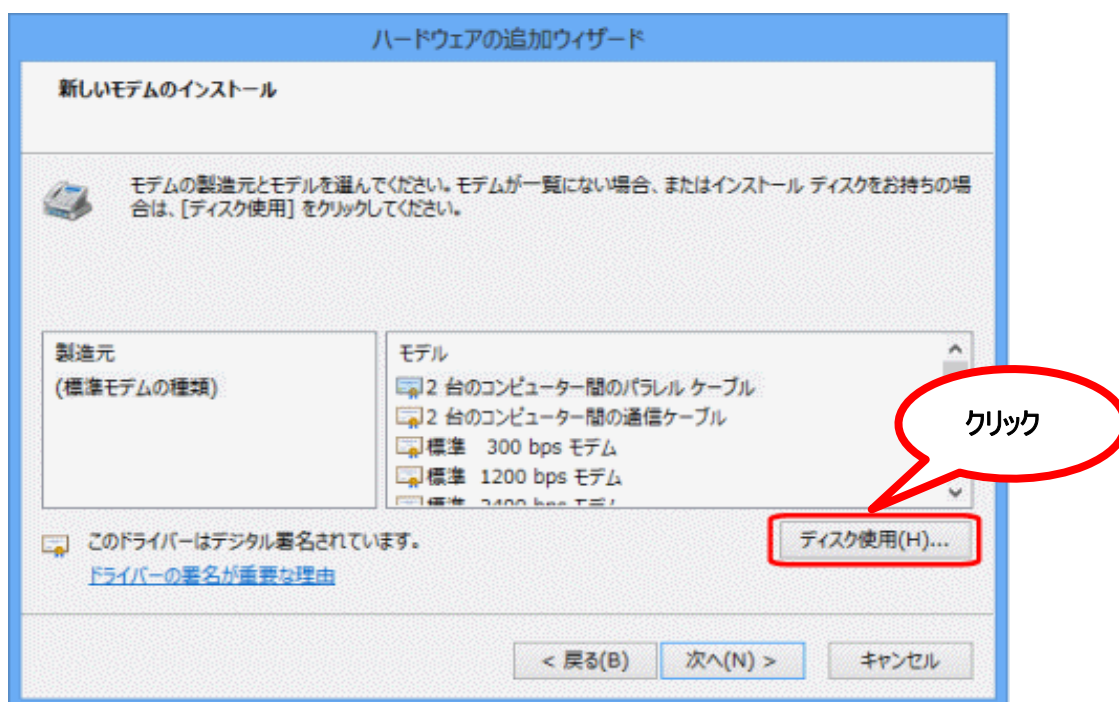


図7.1-5

ファイルのコピー元を指定するウィンドウが表示されますので、「参照」をクリックし「モデムセットアップ情報ファイル」の保存した場所を指定します(図7.1-6)。

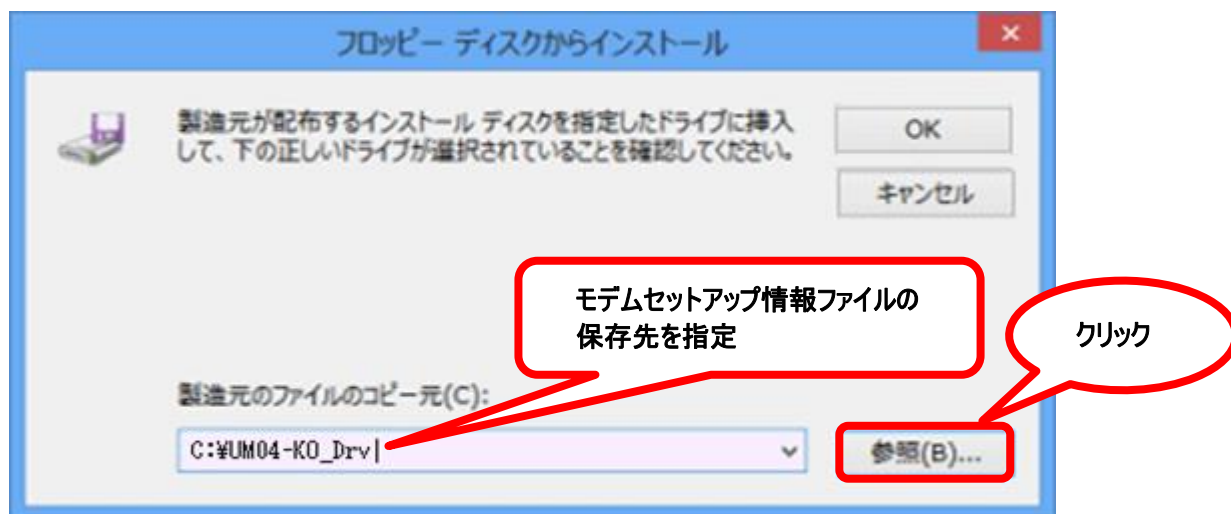


図7.1-6

コピー元の場所を指定したら、「OK」ボタンをクリックします(図7.1-7)。

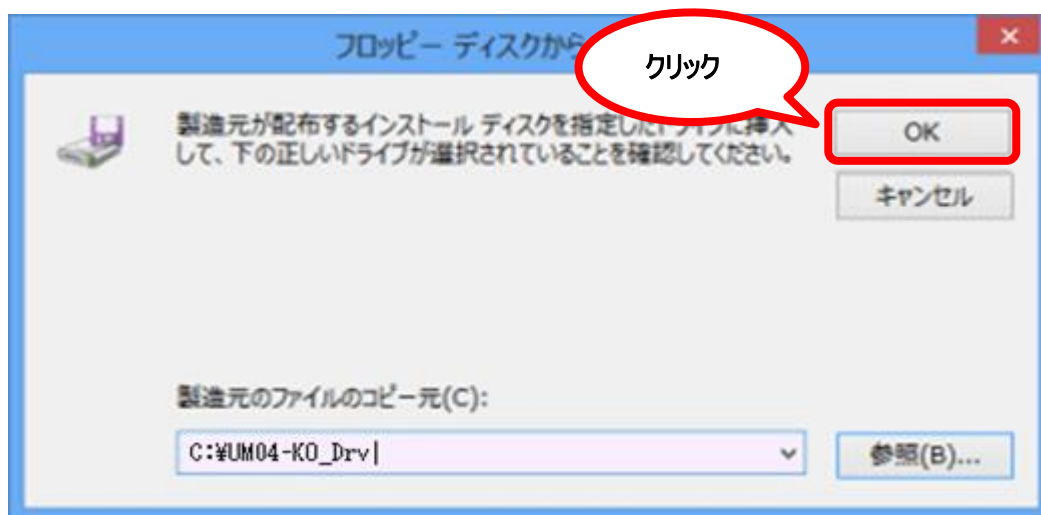


図7.1-7

「モデムセットアップ情報ファイル」を指定すると、モデムのモデル名を表示します。表示されたモデル名「UM04-KO」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします(図7.1-8)。

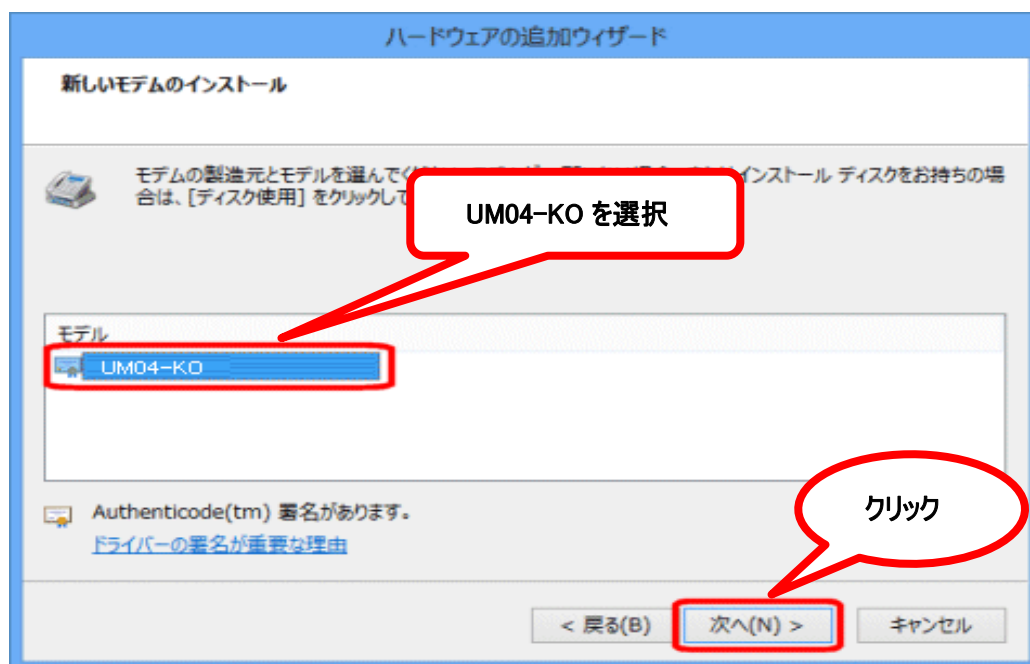


図7.1-8

次にモデム(UM04-KO)をインストールするポートを選択します。高速シリアルカードを使用する場合は、インストールした高速シリアルカードのポートを指定してください(図 7.1-9)。

(図7.1-9ではCOM1を選択していますが、コンピュータのポート割当て状況によって異なります。)

使用するポートを選択後、「次へ」ボタンをクリック後、モデムのインストールが開始されます

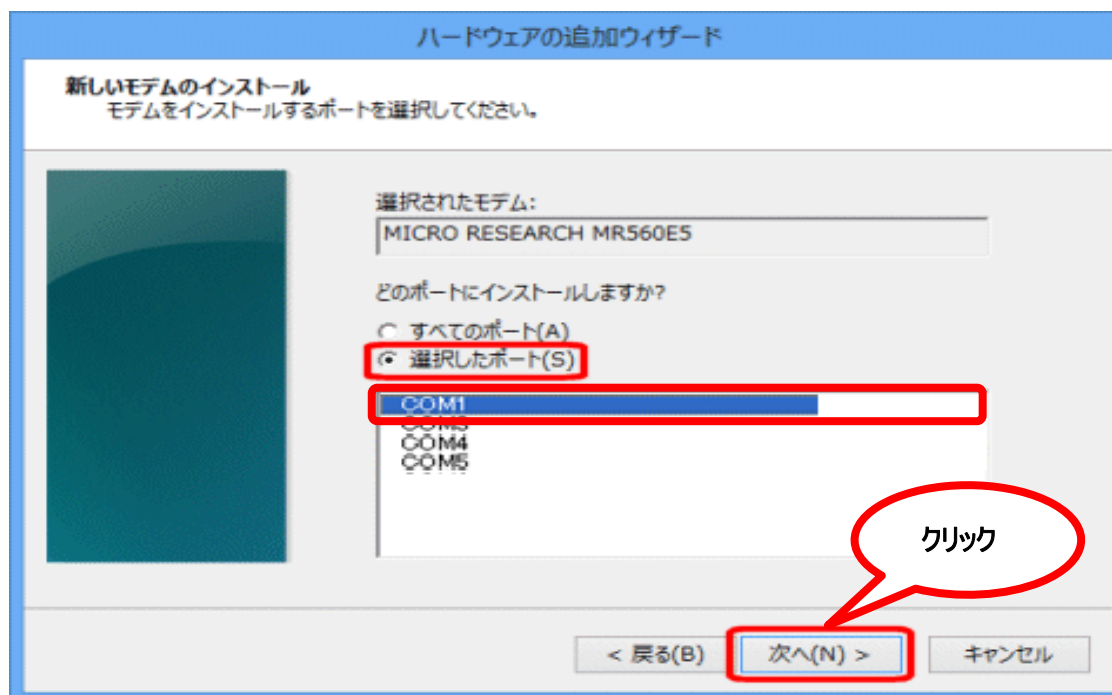


図7.1-9

モデムのインストールが完了すると、図7.1-10の画面が表示されます。

以上でモデム(UM04-KO)のインストールは完了です。「完了」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

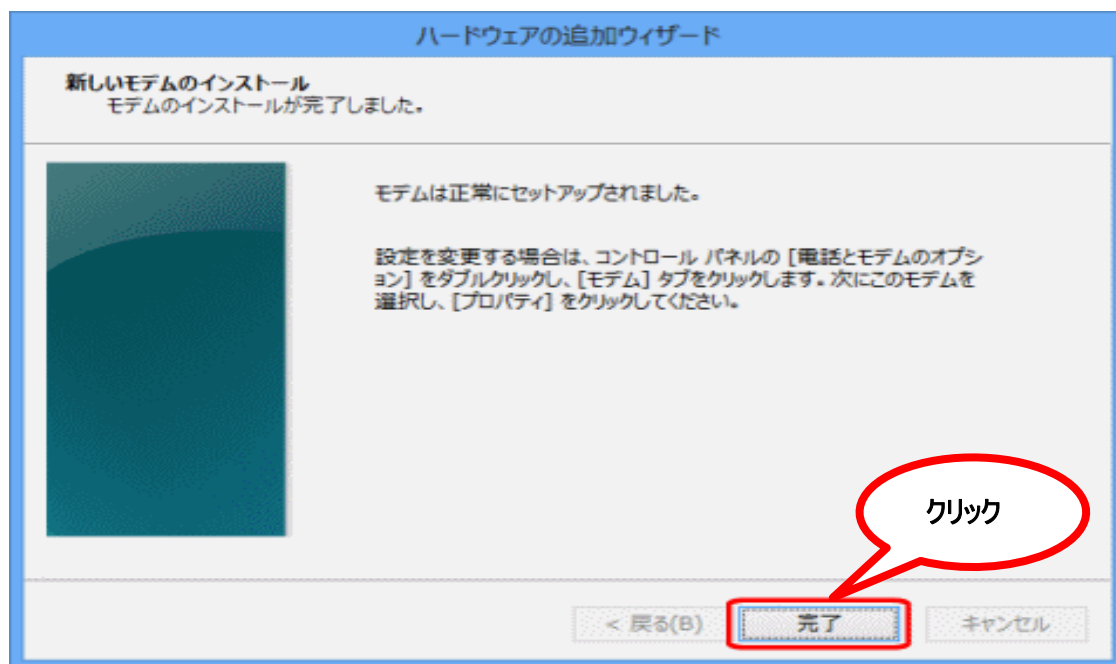


図7.1-10

「電話とモデム」ウィンドウに追加したモデムが表示されていれば、モデムは正常にインストールされています。

「OK」ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます(図7.1-11)。

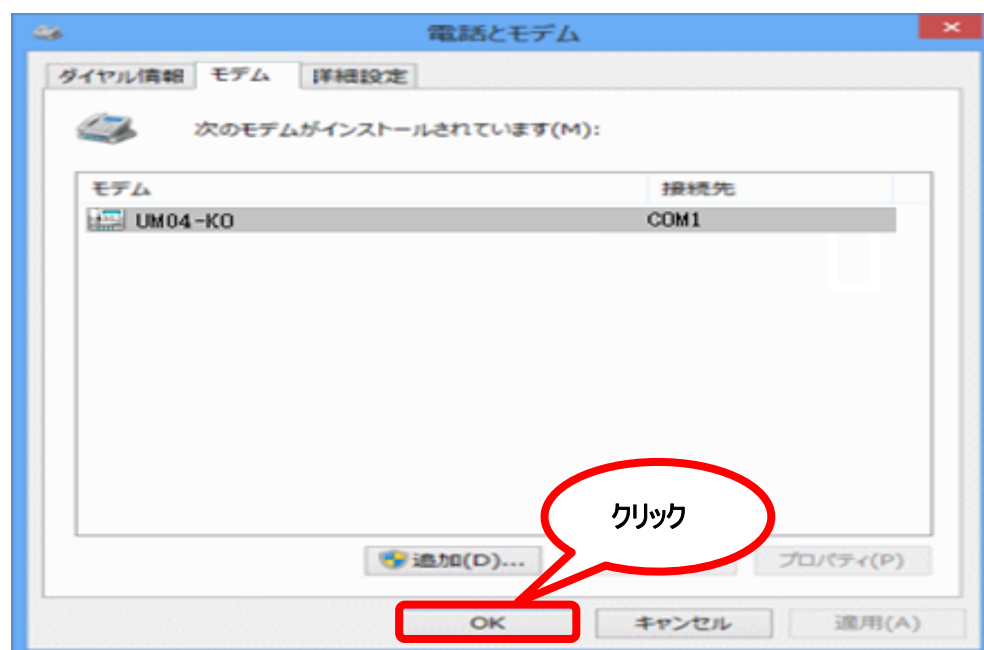


図7.1-11

7.2. ダイアルアップ接続プロファイルの作成

デスクトップにて、カーソルを右下に移動し、メニューを表示して「設定」をクリックします。

設定メニューを表示するので、コントロールパネルをクリックします(図7.2-1)。

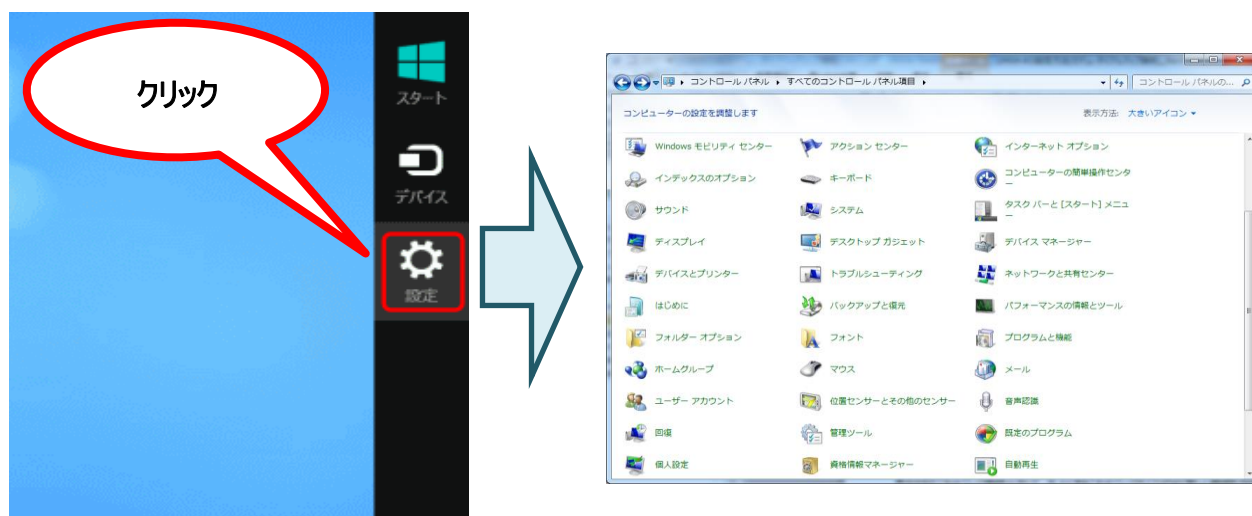


図7.2-1

表示方法から「大きいアイコン」を選択し、「ネットワークと共有センター」をクリックします(図7.2-1)。



図7.2-2

「ネットワークと共有センター」が表示されますので、続けて「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします（図7.2-3）。

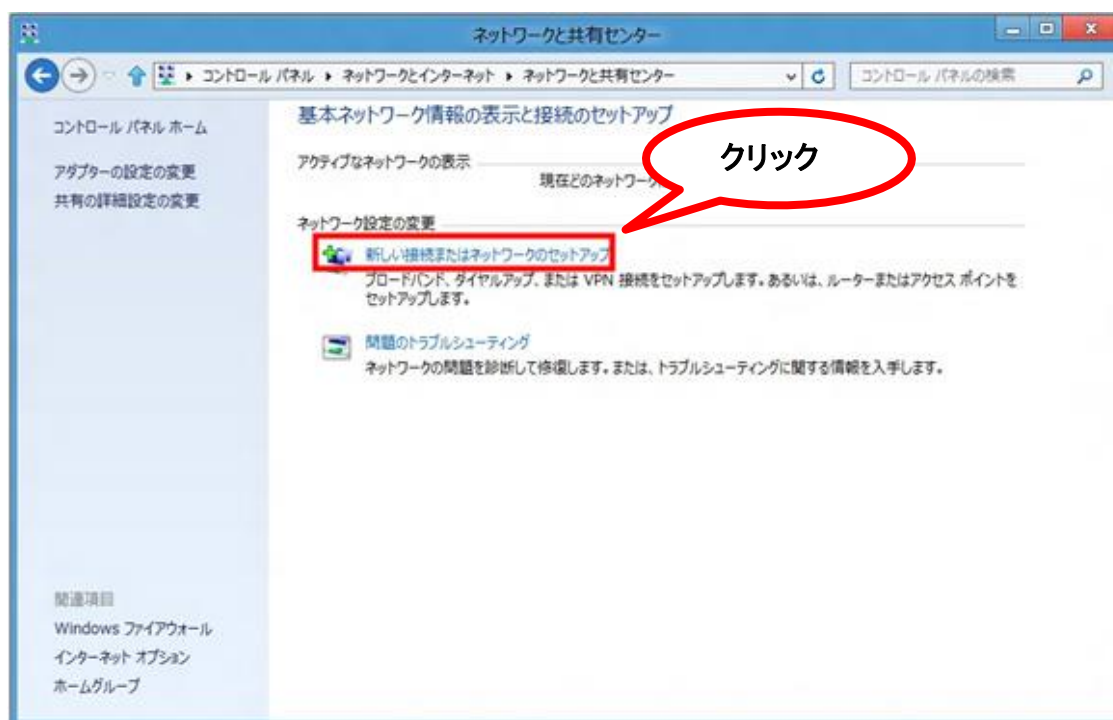


図7.2-3

表示された「新しい接続またはネットワークのセットアップ」において、「インターネットに接続します」を選択し、「次へ」をクリックします（図7.2-4）。

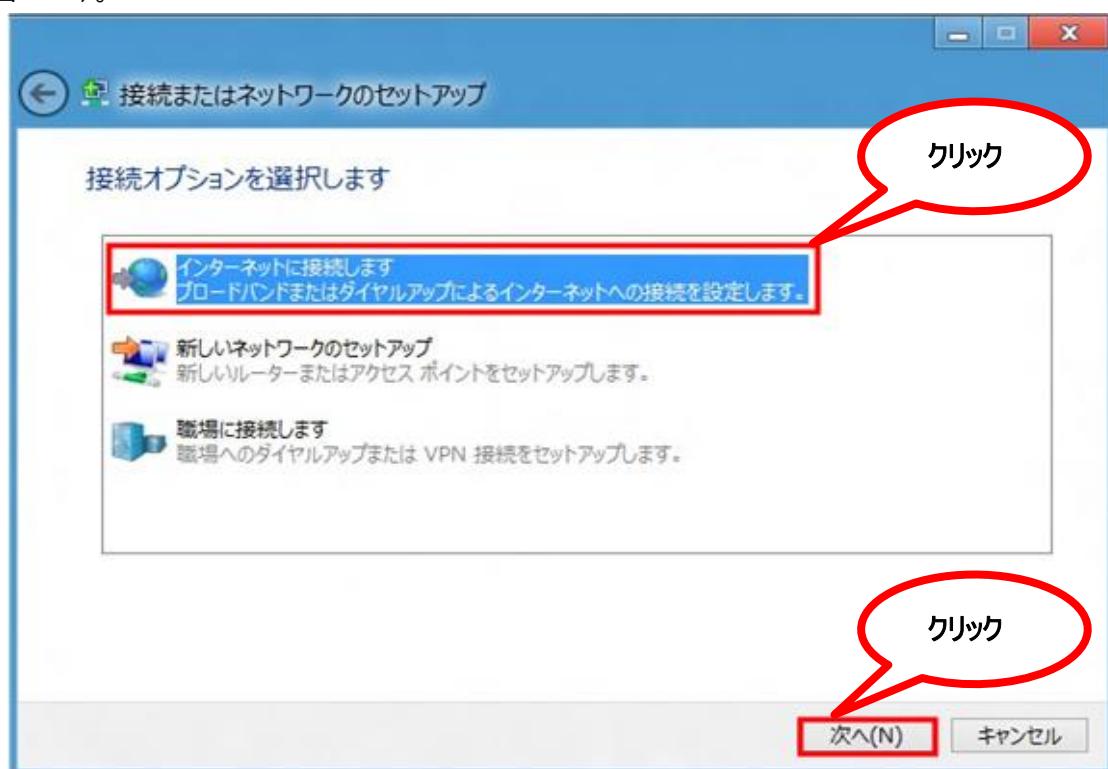


図7.2-4

既にダイヤルアップ接続などの設定がある場合は、下記画面になります。

「いいえ、新しい接続を作成します」を選択し、「次へ」をクリックします(図7.2-5)。

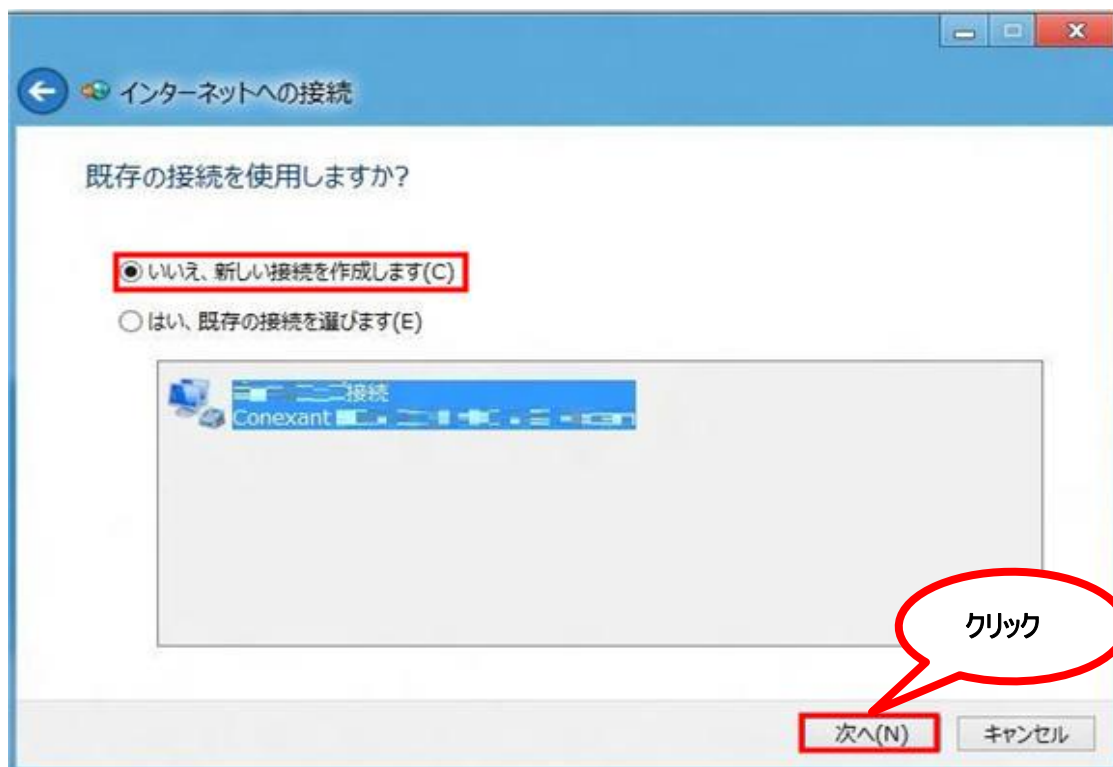


図7.2-5

「接続方法」を選択する画面が表示されますので、ここでは「ダイヤルアップ」をクリックします(図7.2-6)。

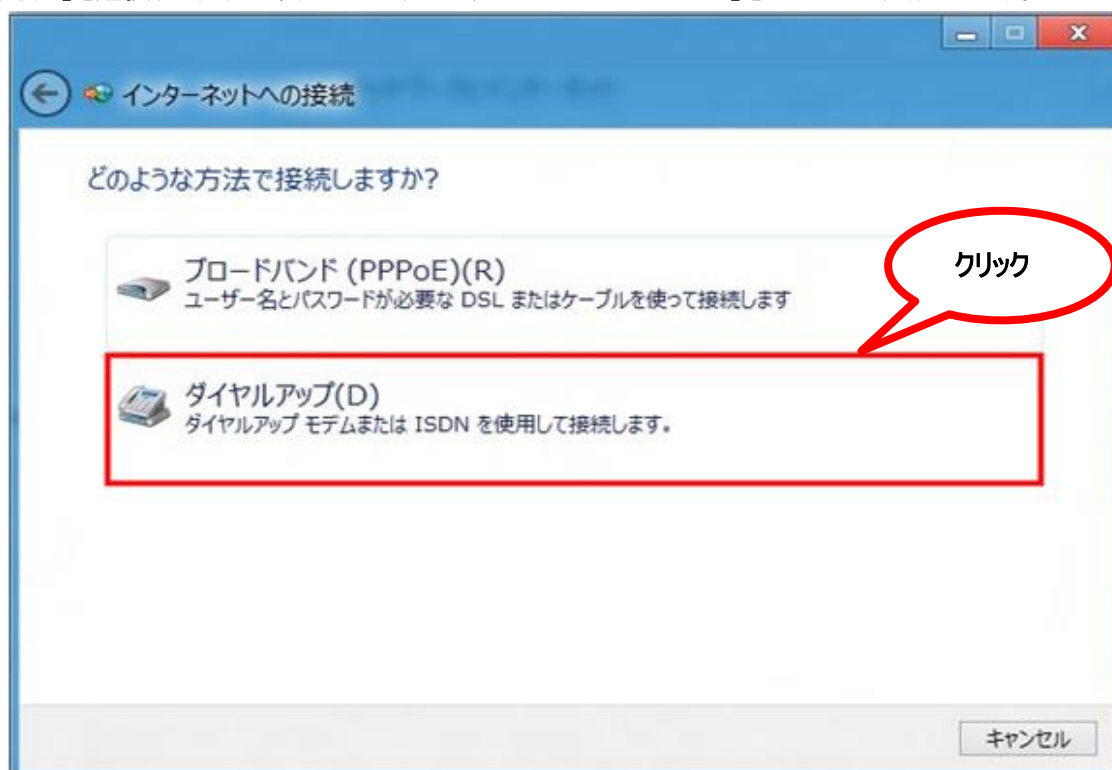


図7.2-6

※モデム選択画面が表示された場合は、この接続で利用するモデムを選択します。

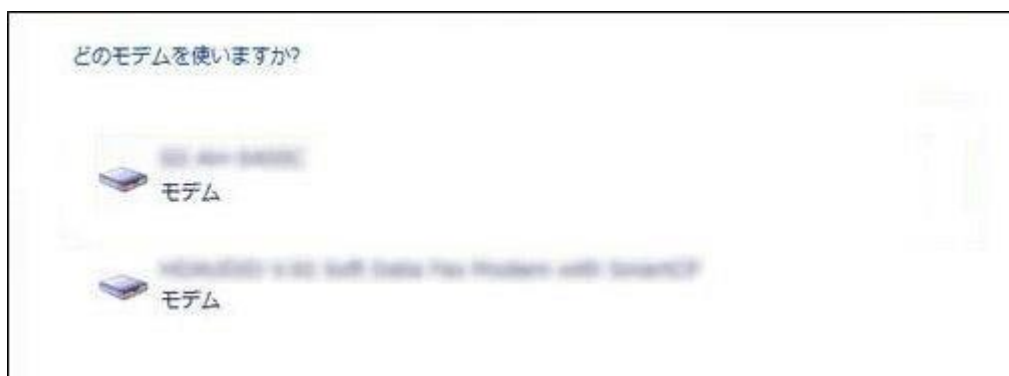


図7.2-7

※図7.2-8の画面になるような場合は、利用しているPCにダイヤルアップ用モデムが無い場合や、ダイヤルアップ用モデムが正しくPC上で認識していない場合となります。

ダイヤルアップ用モデムが正しくインストールされているかどうか確認をしてください。

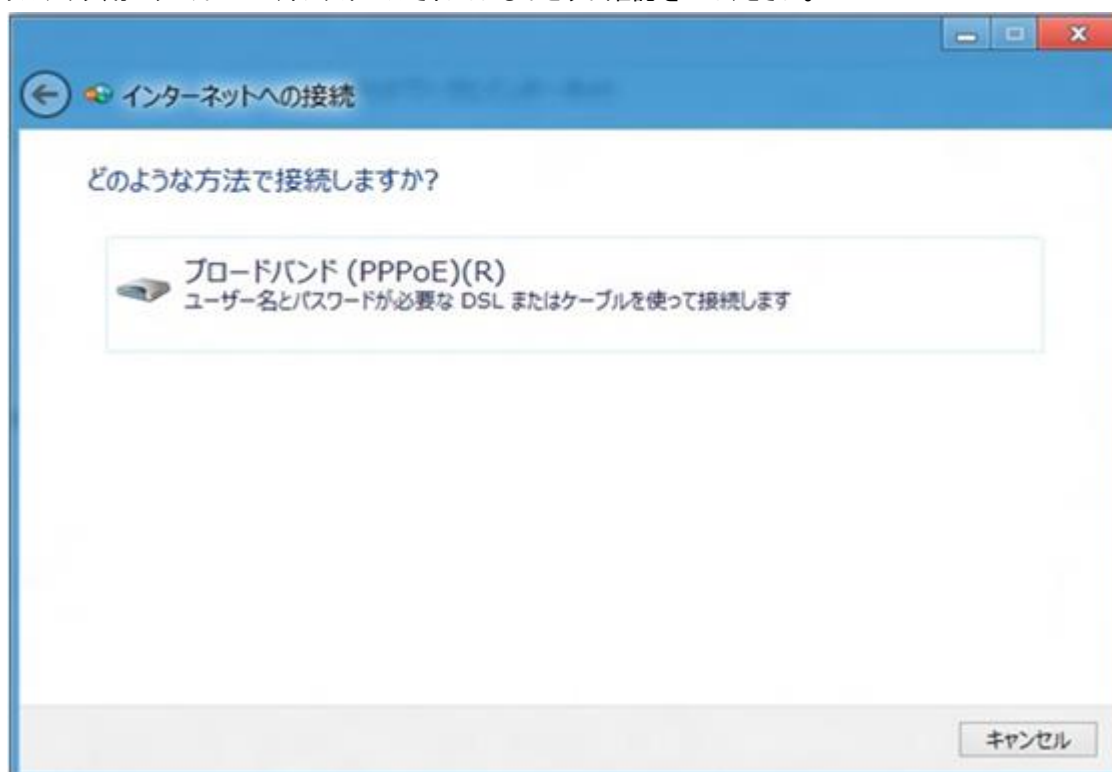


図7.2-8

ISPの情報入力画面が表示され、ダイヤルアップ接続を行うISPを設定します(図7.2-9)。

ここではドコモの「moperaU」を利用してダイヤルアップ接続を行うものとして説明します。

※その他のISPにダイヤルアップ接続を行う場合、そのISPが定めるセットアップ方法にしたがってダイヤルアップ接続の設定を行ってください。なお、利用するプロバイダは高速パケット通信に対応している必要があります。

※装置ネットワークなど限定されたネットワークに接続する場合には、該当するネットワークの設定方法にしたがってセットアップ接続の設定を行ってください。

まず、ダイヤルアップ接続先の電話番号を設定します。

ここでは引き続き、ドコモの「moperaU」を利用する場合の電話番号を例に設定を行います。

※あらかじめ、モデム(UM04-KO)に「moperaU」への接続設定(APN設定)を行っておく必要があります。

(出荷状態ではモデム(UM04-KO)にはAPNの設定は行われておりません。)

「UM04-KO 取扱説明書」を参考にして、お客様でAPNの設定を行っておいてください。

ダイヤルする電話番号として、「ダイヤルアップの電話番号」に「*99***1#」と半角文字で入力してください。

※上記の電話番号「*99***1#」は、モデム(UM04-KO)に「moperaU」への接続設定をCID1に登録した場合の番号です。

他のCIDに登録を行った場合には、「*99***△#」(△にはAPN設定時に登録したCID番号(1~20)を入力)として、電話番号を入力してください。

詳しくは、「UM04-KO 取扱説明書」を参照してください。

インターネットへの接続

インターネット サービス プロバイダー (ISP) の情報を入力します

ダイヤルアップの電話番号(D): *99***1# [ダイヤル情報](#)

ユーザー名(U): [ISP から付与されたユーザー名]

パスワード(P): [ISP から付与されたパスワード]

☐ パスワードの文字を表示する(S)

☐ このパスワードを記憶する(R)

接続名(N): moperaU

☐ 他の人がこの接続を使うことを許可する(A)
このオプションによって、このコンピューターにアクセスがあるすべての人がこの接続を使えるようになります。

[ISP がありません](#)

[接続\(C\)](#) [キャンセル](#)

図7.2-9

【参考】

- ・ APNの登録はATコマンド操作で行います。
- ・ 詳しくは「UM04-KO 取扱説明書」に記述されている、ATコマンド「AT+CGDCONT」の使用方法を参照してください。

※その他のISPにダイヤルアップ接続を行う場合、「高速パケット通信対応」のアクセスポイントの設定を行ってください。

設定の際にはそのISPが定めるセットアップ方法にしたがってダイヤルアップ接続の設定を行ってください。

また、モデム(UM04-KO)に利用するISPへの接続設定(APN設定)を行っておく必要があります。「UM04-KO 取扱説明書」を参考にして、お客様でAPNの設定を行っておいてください。

※装置ネットワークなど限定されたネットワークに接続する場合には、該当するネットワークの設定方法にしたがってセットアップ接続の設定を行ってください。

次に、インターネットアカウント情報を設定します。

「moperaU」を利用する場合には、「ユーザー名」・「パスワード」の入力は必要ありません。

したがって、図7.2-10内の「ユーザー名」・「パスワード」・「パスワードの確認入力」欄はそれぞれ空欄のままとします。

図7.2-10

※moperaU以外のISPにダイヤルアップ接続を行う場合などアクセス先が「ユーザー名」・「パスワード」を必要とする場合は、そのISPが定めるセットアップ方法にしたがって「ユーザー名」・「パスワード」の情報を入力してください。

接続名は、ISP名「moperaU」と入力します。

(補足:ISP名は接続動作には関係ありませんので、任意の名前を入力することが可能です)

接続名入力後、「接続」ボタンをクリックします(図7.2-11)。

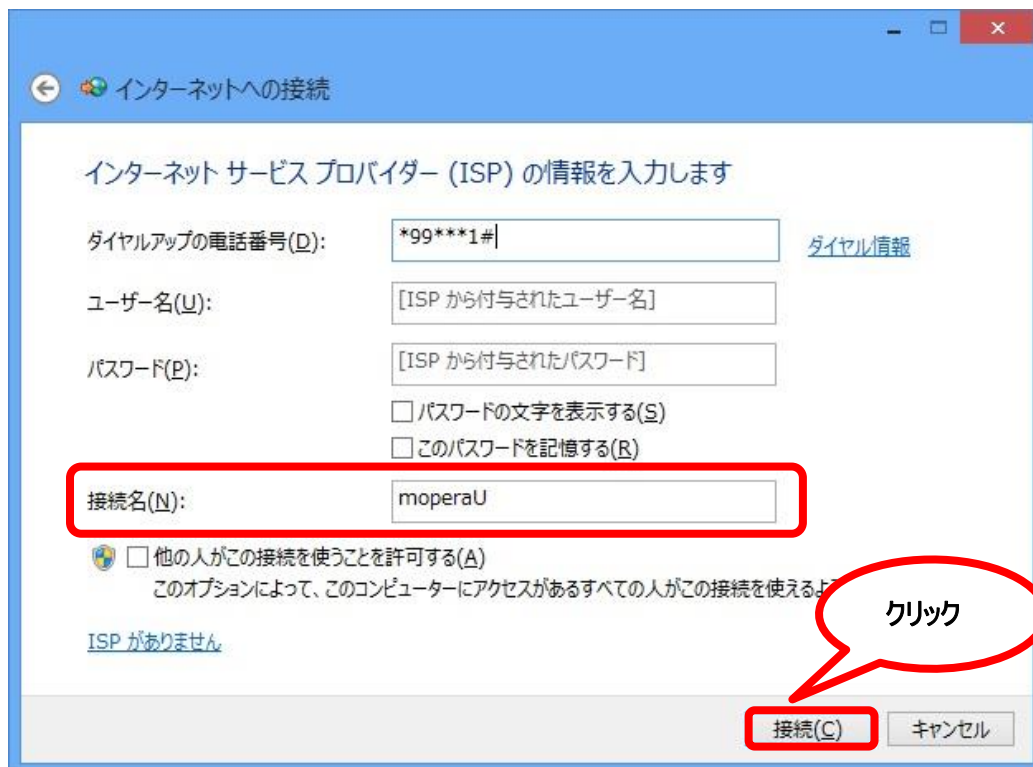


図7.2-11

「moperaUに接続中...」の画面が表示されます。(図7.2-12)

ここでは、接続を行わないため、スキップをクリックします。

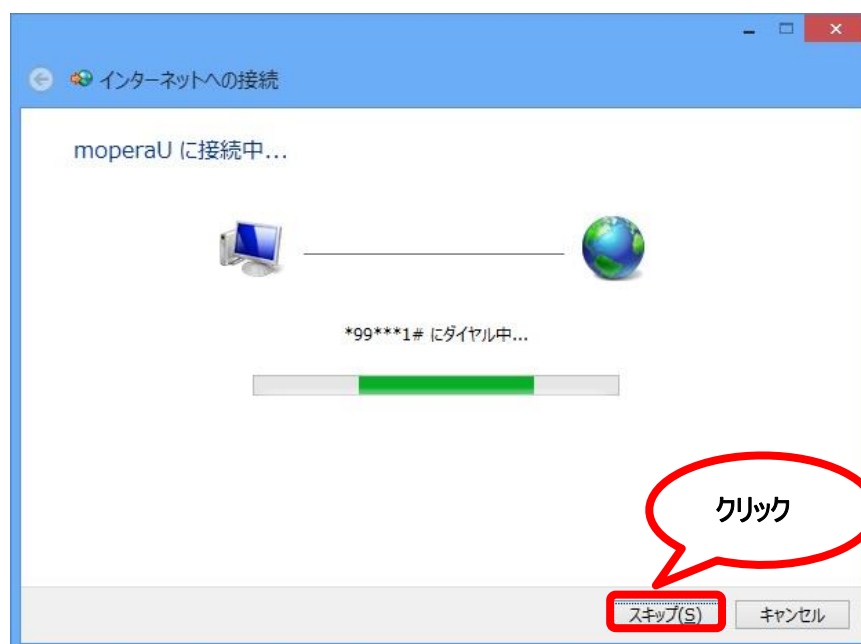


図7.2-12

「接続の仕様準備ができました」の画面が表示されます。(図7.2-13)

ここでは、接続を行わないため、「閉じる」をクリックします。

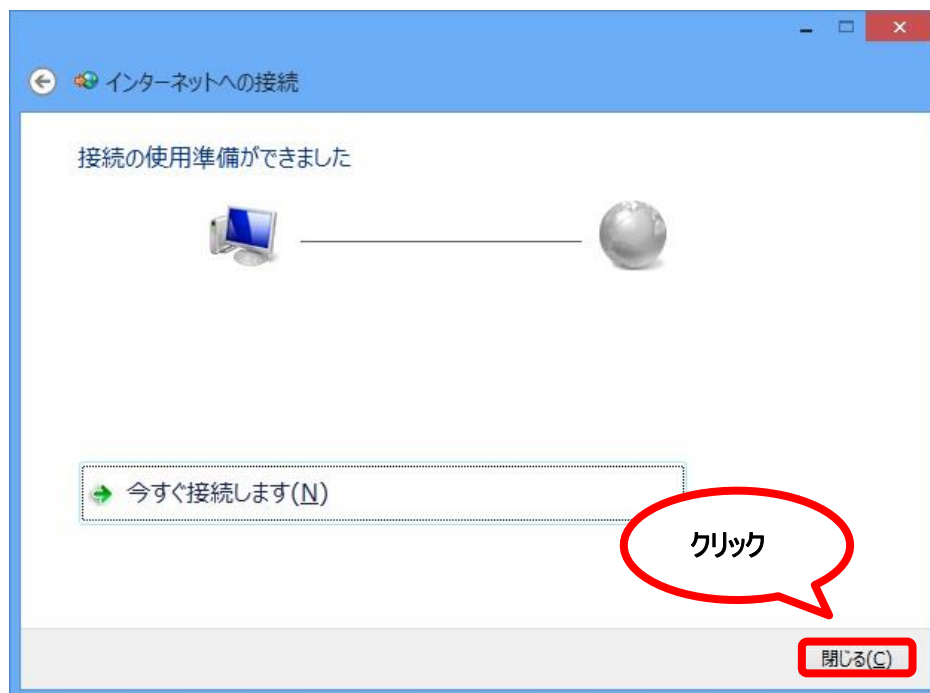


図7.2-13

以上でダイヤルアップ接続プロファイルの作成は完了です。

7.3. モデム設定・接続プロファイルの設定・確認

7.1および7.2でインストールしたモデムの設定、および作成したダイヤルアップ接続プロファイル「moperaU」の設定を確認します。

モデムの設定では、モデムの通信速度などを設定・確認します。

接続プロファイルの設定では、接続プロファイルのハードウェア機能、通信速度やネットワーク設定などを設定・確認します。

7.3.1. モデム(UM04-KO)の設定・確認

デスクトップにて、カーソルを右下に移動し、メニューを表示して「設定」をクリックします。

設定メニューを表示するので、コントロールパネルをクリックします(図7.3.1-1)。



図7.3-1

表示されたコントロールパネルにおいて、「大きいアイコン」を選択し、「電話とモデム」をクリックします(図7.3.1-2)。

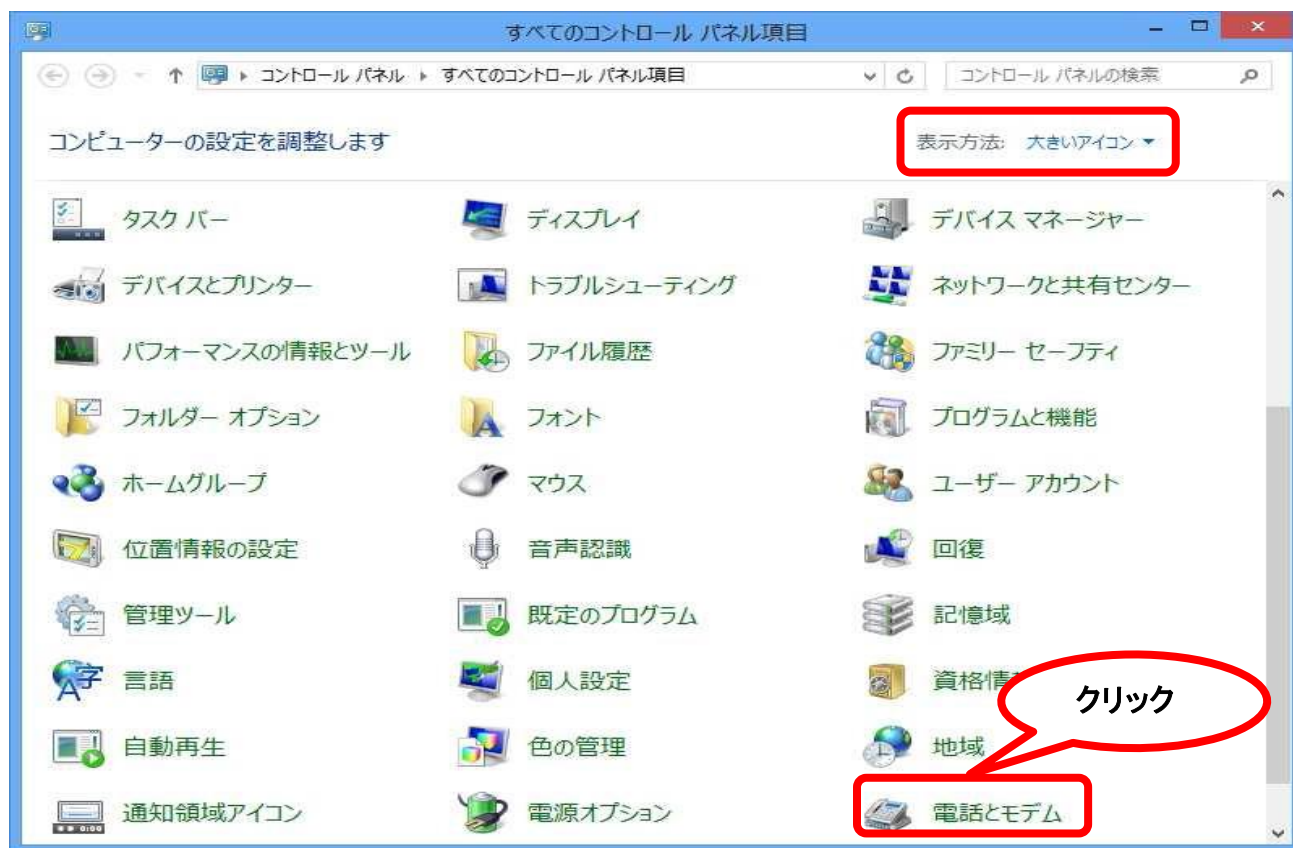


図7.3-2

「電話とモデム」ウィンドウが表示されますので、続けて「モデム」タブを選択し、モデム(UM04-KO)を選択し、「プロパティ」をクリックします(図7.3.1-3)。

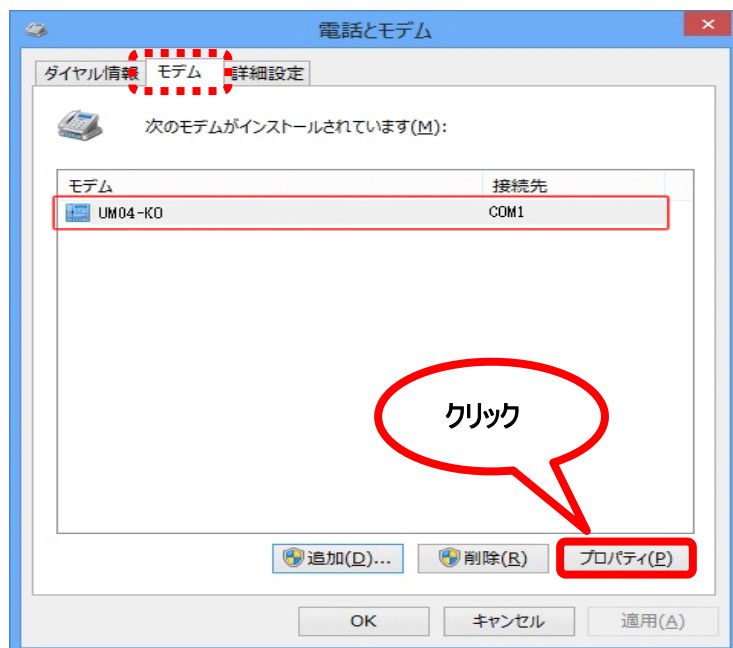


図7.3-3

「UM04-KOのプロパティ」が表示されますので、「設定の変更」をクリックします。(図7.3.1-4)。

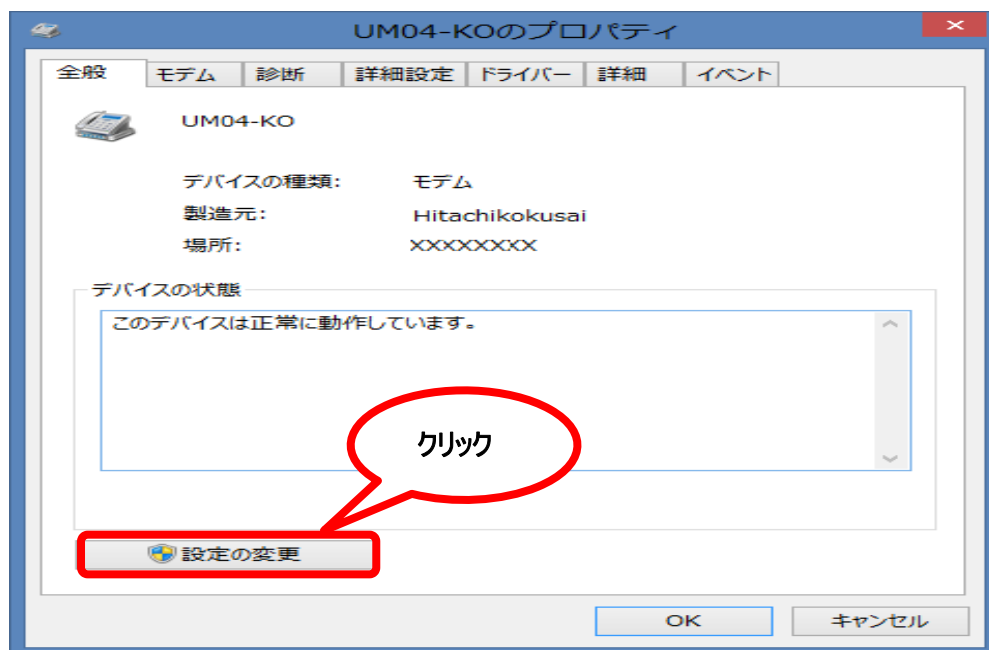


図7.3-4

※本モデムの製造元である株式会社日立国際電気(Hitachi Kokusai Electric Inc.)は、2024年12月27日に株式会社国際電気(KOKUSAI DENKI Electric Inc.)となりました。

「設定の変更」が消え、各タブの設定値の変更が可能になります(図7.3.1-5)。

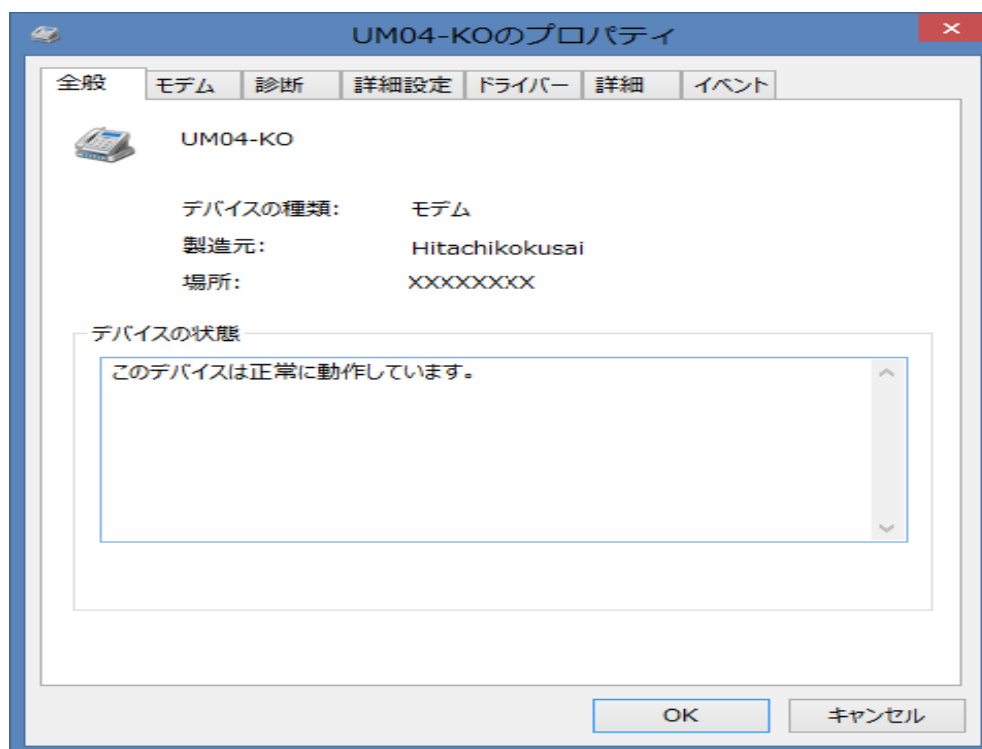


図7.3-5

※本モデムの製造元である株式会社日立国際電気(Hitachi Kokusai Electric Inc.)は、2024年12月27日に株式会社国際電気(KOKUSAI DENKI Electric Inc.)となりました。

「UM04-KOのプロパティ」において、以下の項目を設定・確認します。

- a) ポートの最高速度
- b) フロー制御

a) ポートの最高速度

「モデム」タブをクリックし「ポートの最高速度」を設定します。設定する値は、「UM03-KO接続用治具」に設定したシリアル通信速度と同じ値に設定してください。(図7.3.1-6)

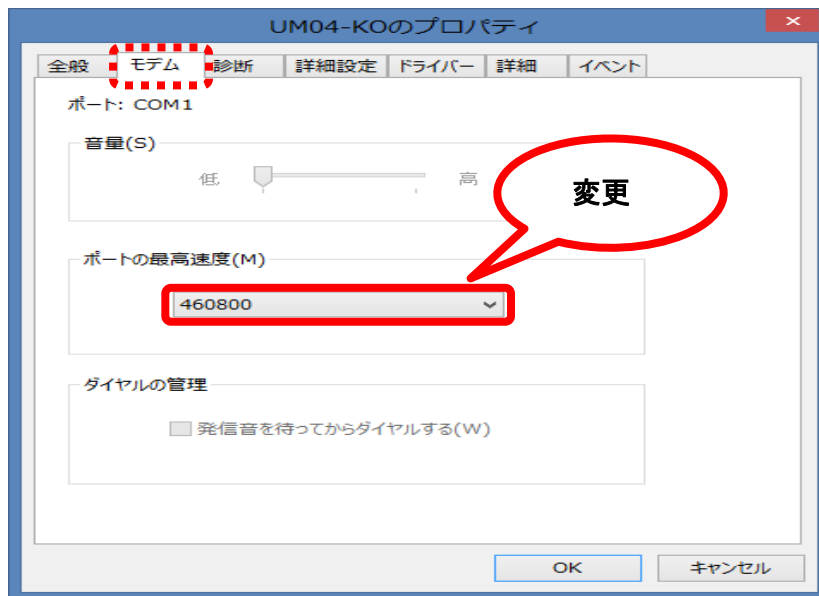


図7.3-6

b) フロー制御

「詳細設定」タブをクリックし「フロー制御」を設定・確認します。

「詳細設定」タブにある「既定の設定を変更」ボタンをクリックしてください(図7.3.1-7)。

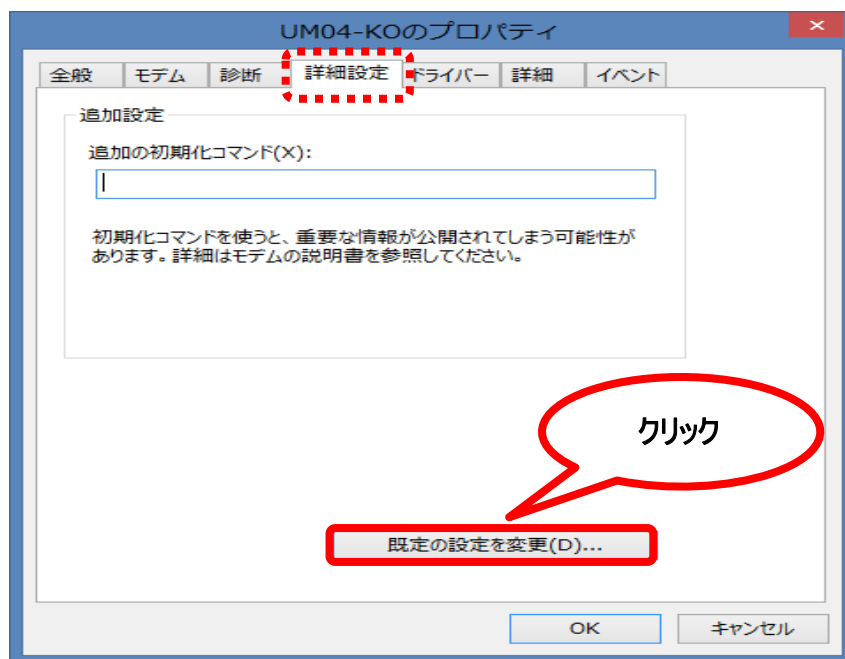


図7.3-7

「既定の設定を変更」ボタンをクリックすると「UM04-KO 既定の設定」ウィンドウが表示されます。

「UM04-KO 既定の設定」において、「フロー制御」を設定します。設定する値は、モデム(UM04-KO)に設定した値と同じ値に設定してください。(図7.3.1-8)

※ モデム(UM04-KO)におけるフロー制御の設定については、「UM04-KO 取扱説明書」を参照してください。

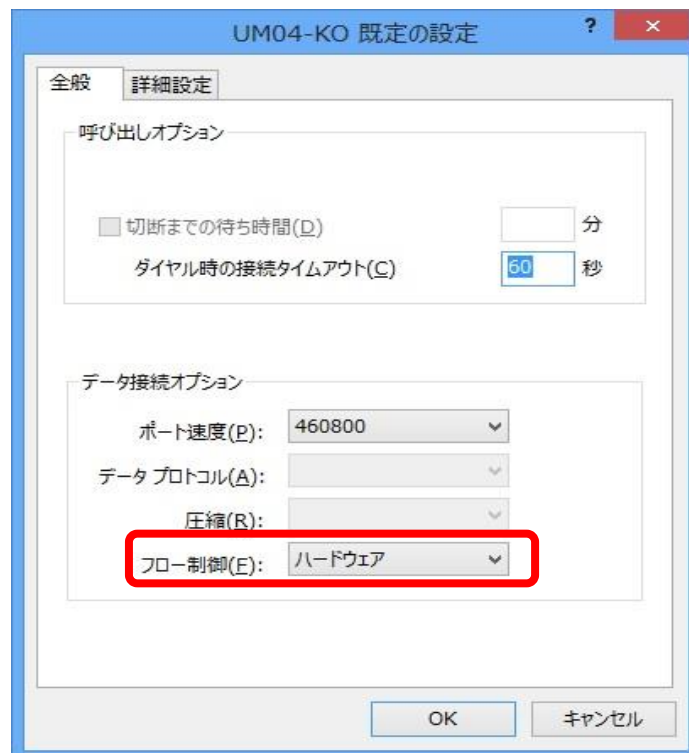


図7.3-8

続けて、「UM04-KO 既定の設定」において、「詳細設定」タブを選択します。

「詳細設定」に表示された「ハードウェアの設定」(データビット・パリティ・ストップビット)の値がそれぞれ、図7.3.1-9に示した値になっているか、確認してください。

データビット: 8

パリティ: なし

ストップビット: 1

正しく設定されていることを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

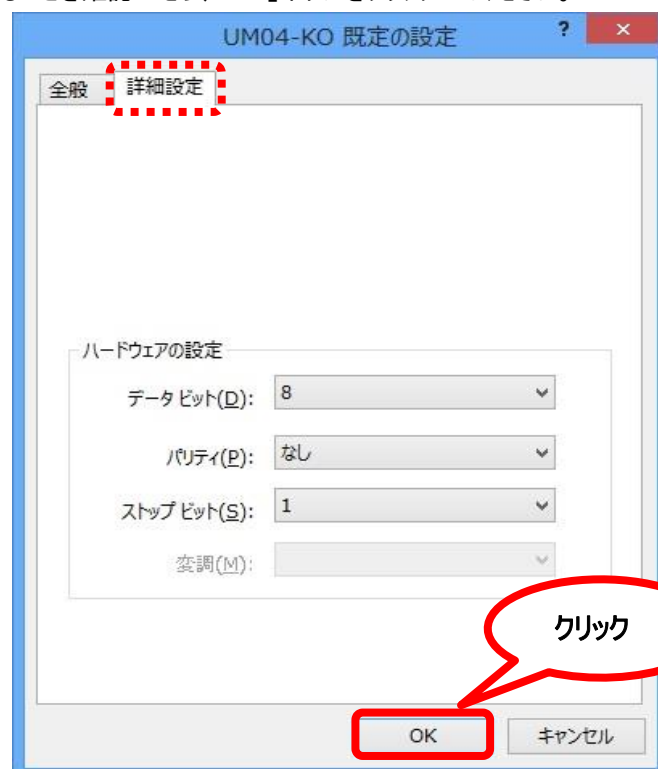


図7.3-9

以上で「モデム(UM04-KO)の設定・確認」は終了です。

「OK」ボタンをクリックして「UM04-KOのプロパティ」ウィンドウを閉じてください(図7.3.1-10)。

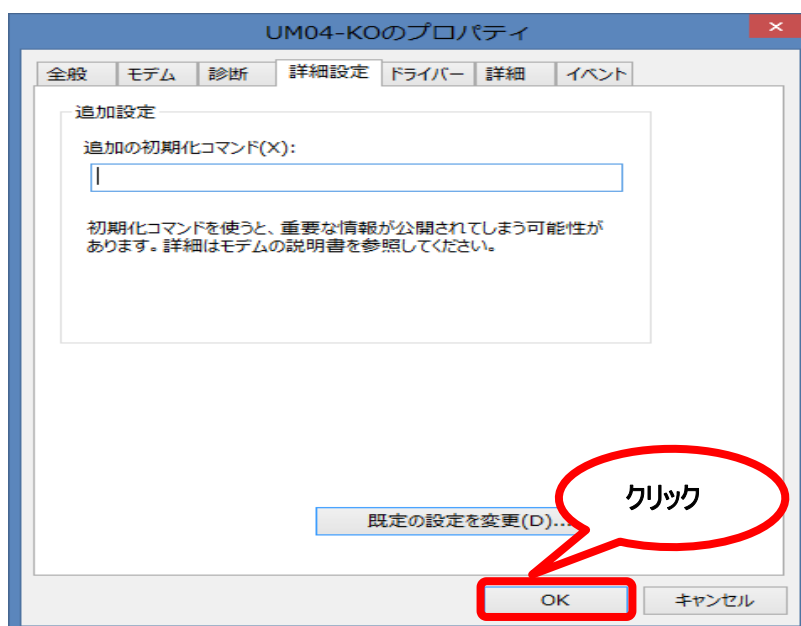


図7.3-10

続けて、表示されている「電話とモデム」ウィンドウを「OK」ボタンをクリックして閉じてください(図7.3.1-11)。

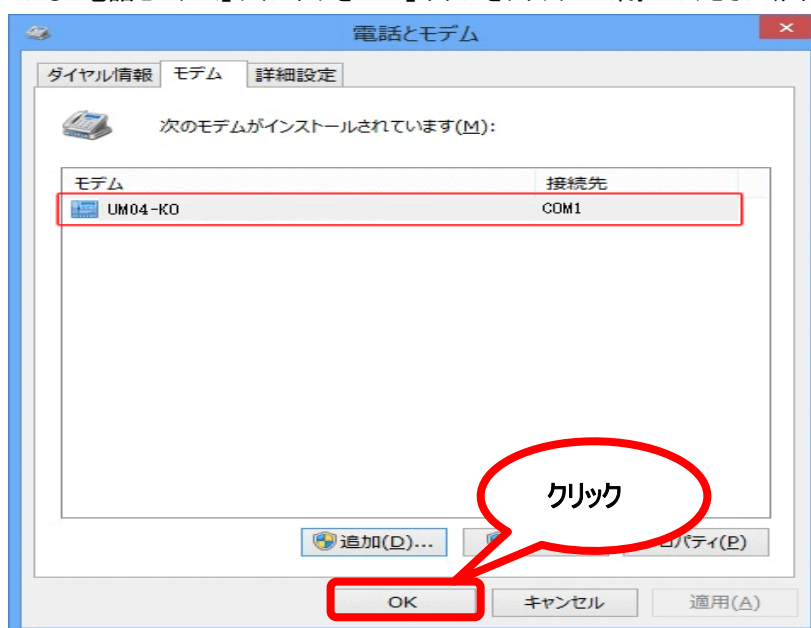


図7.3-11

7.3.2. 接続プロファイル・ハードウェア機能、通信速度の設定・確認

「7.2 ダイアルアップ接続プロファイルの作成」で作成したダイアルアップ接続プロファイル「moperaU」の設定・確認を行います。

デスクトップにて、カーソルを右下に移動し、メニューを表示して「設定」をクリックします。

設定メニューを表示するので、コントロールパネルをクリックします(図7.3.2-1)。

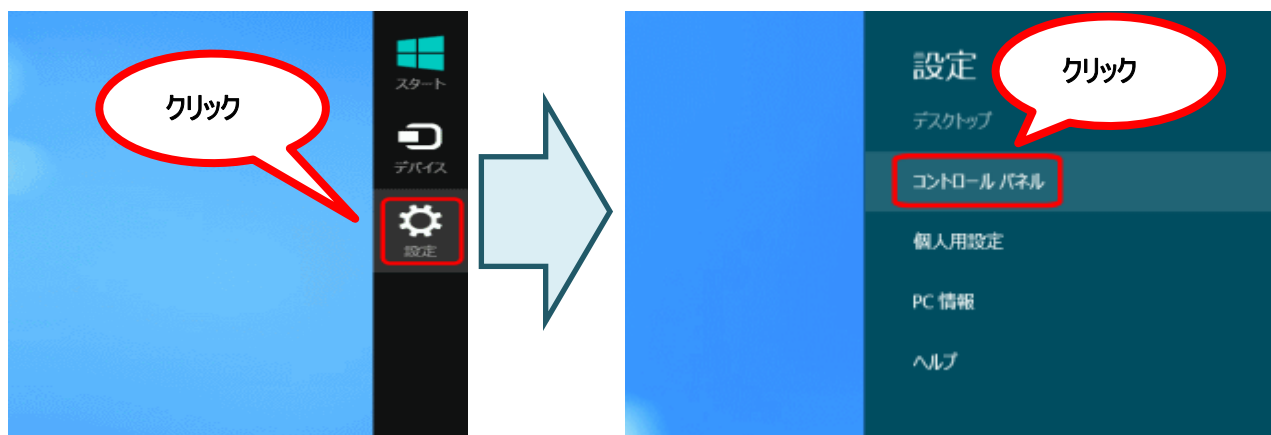


図7.3-12

コントロールパネルの画面を表示されます。

「大きいアイコン」を選択し、「ネットワークと共有センター」をクリックします(図7.3.2-2)。

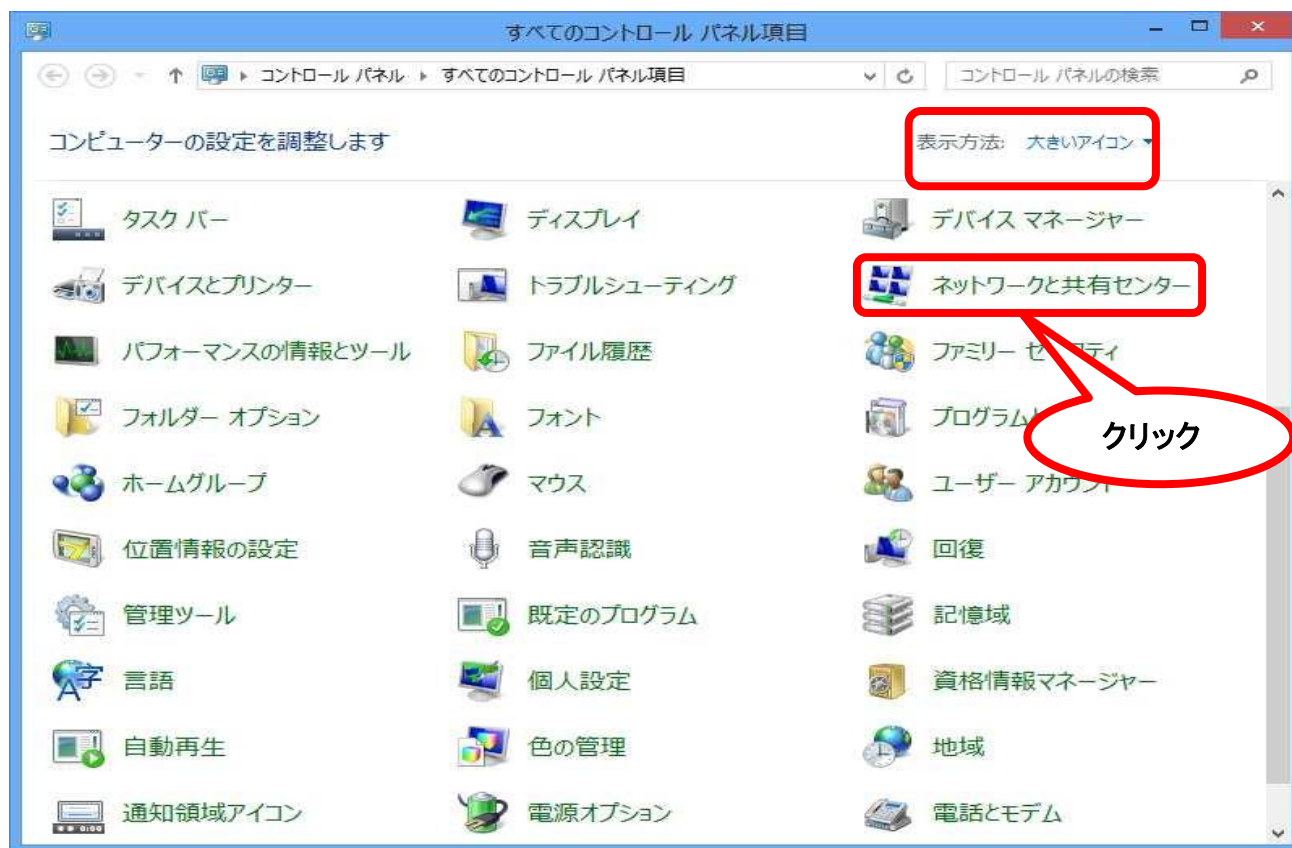


図7.3-13

「ネットワークと共有センター」が表示されますので、「アダプターの設定の変更」をクリックします(図7.3.2-3)。

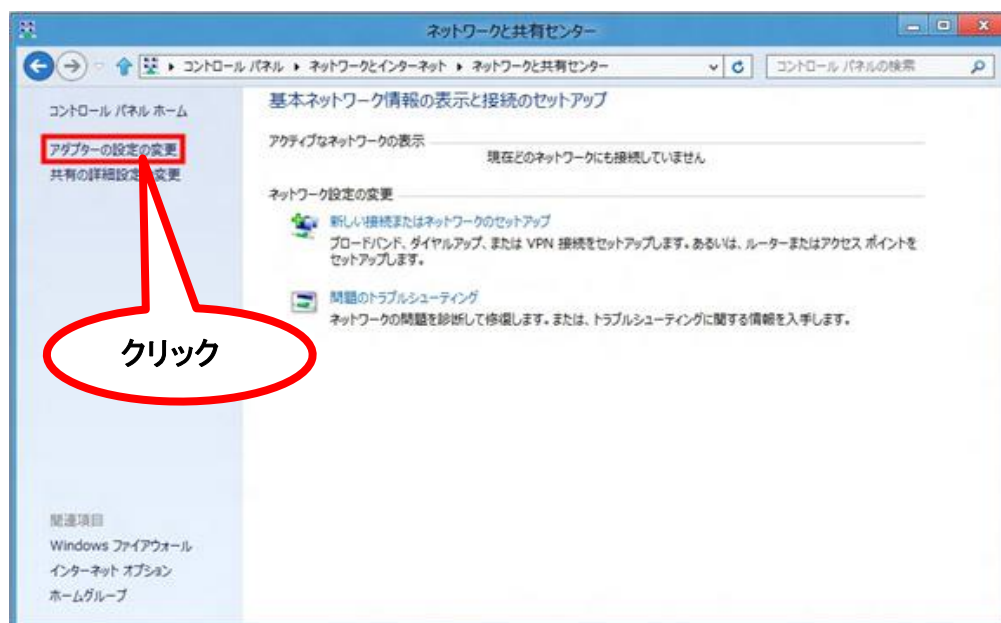


図7.3-14

表示された「ネットワーク接続」において、「7.2 ダイアルアップ接続プロファイルの作成」で作成したダイアルアップ接続プロファイル「moperaU」の設定・確認を行います。

「moperaU」のアイコン上で右クリックしてコンテキストメニューを表示させ、「プロパティ」をクリックしてください(図7.3.2-4)。

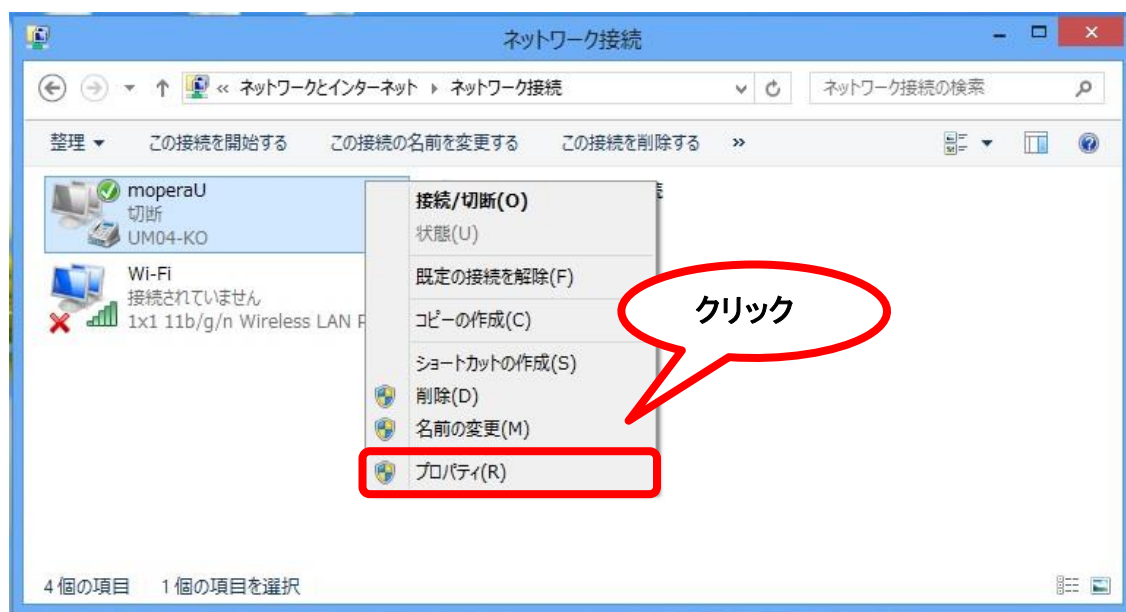


図7.3-15

表示された「moperaUのプロパティ」においてダイヤルアップ接続にて使用するモデム(UM04-KO)の設定を確認するために、モデム(UM04-KO)を選択した状態で「構成」ボタンをクリックします(図7.3.2-5)。

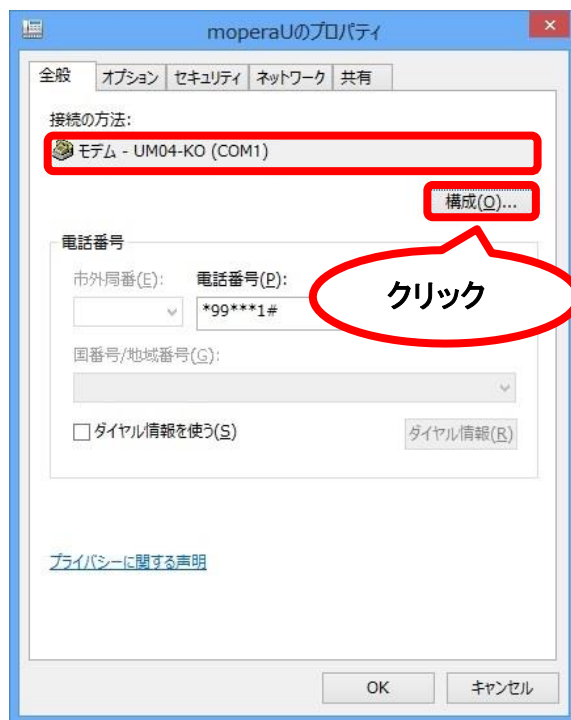


図7.3-16

表示された「モデムの構成」UM04-KOにおいて、「最高速度 (bps)」を設定してください(図7.3.2-6)。
設定する値は、「UM03-KO接続用治具」に設定したシリアル通信速度と同じ値に設定してください。
(図7.3.1-6「UM04-KOのプロパティ」にて設定されたポートの最高速度と同じ値を設定してください。)
※モデムのハードウェアフロー制御を使用する場合には、「ハードウェアの機能」欄の「ハードウェアフロー制御を行う」にチェックを入れます。この場合、「モデム (UM04-KO)」の設定もハードウェアフロー制御に設定してください。
(図7.3.1-7「UM04-KO 既定の設定」にて設定されたフロー制御と同じ設定にしてください。)
※「モデム (UM04-KO)」におけるフロー制御の設定については、「UM04-KO 取扱説明書」を参照してください。
設定が完了しましたら、「OK」ボタンをクリックして「モデムの構成」を閉じてください。

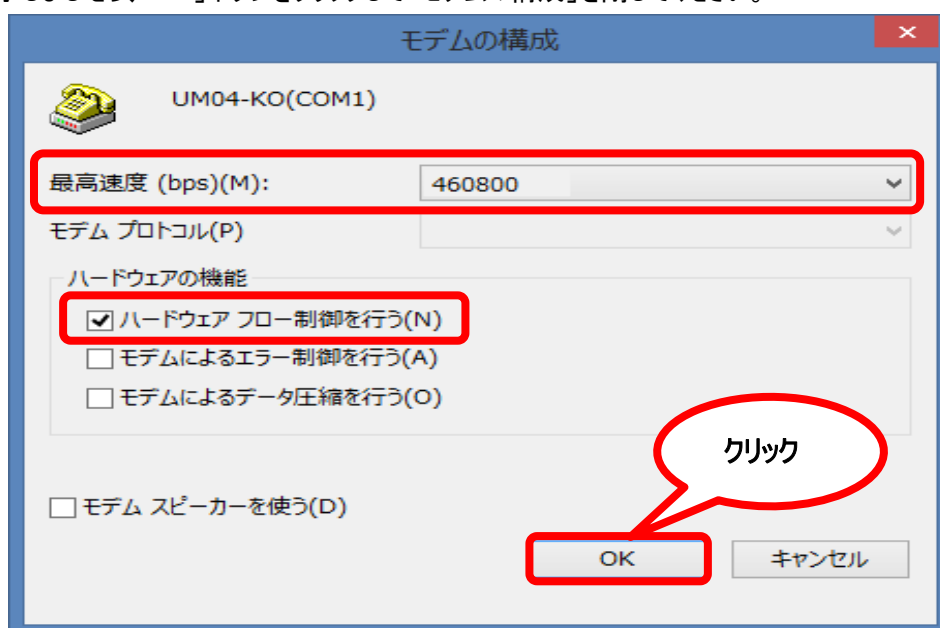


図7.3-17

7.3.3. 接続プロファイル・ネットワークの設定 (PPP 設定、TCP/IP 設定)

図7.3.2-4で表示させた「moperaUのプロパティ」において、「オプション」タブおよび「ネットワーク」タブをクリックして以下の設定・確認を行います。

- a) 「moperaUのプロパティ」の「オプション」タブにおいては、PPP設定項目を設定・確認
- b) 「moperaUのプロパティ」の「ネットワーク」タブにおいては、インターネットプロトコル(TCP/IP)設定・確認

a) PPP設定

「オプション」画面において、「PPP設定」をクリックします。(図7.3.3-1)。

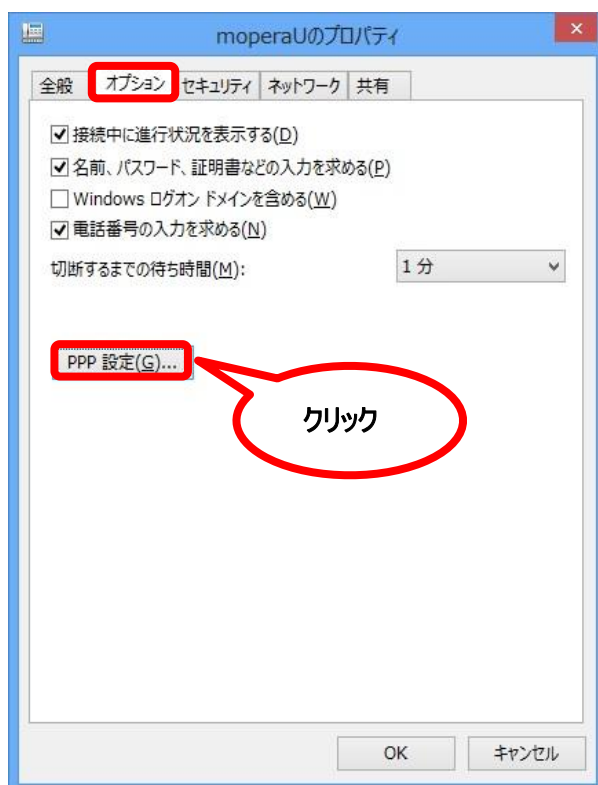


図7.3-18

表示された「PPP 設定」において、「LCP 拡張を使う」と「ソフトウェアによる圧縮を行う」のチェックを外してください。全てのチェックボックスが未チェックであることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。(図7.3.3-2)

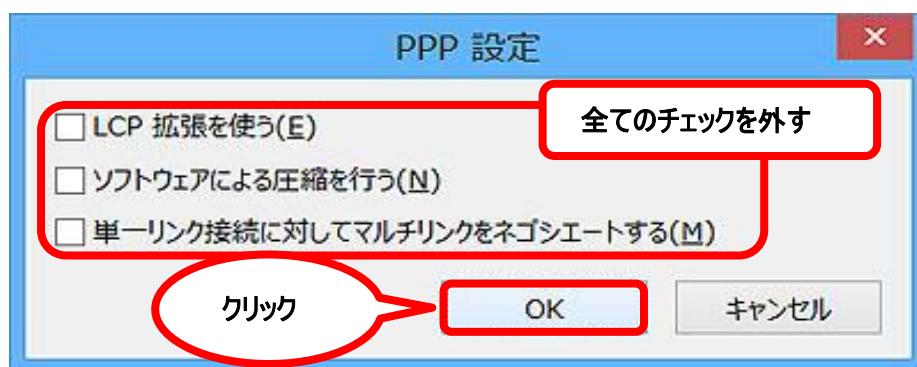


図7.3-19

b) インターネットプロトコル(TCP/IP) 設定

「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします(図7.3.3-3)。

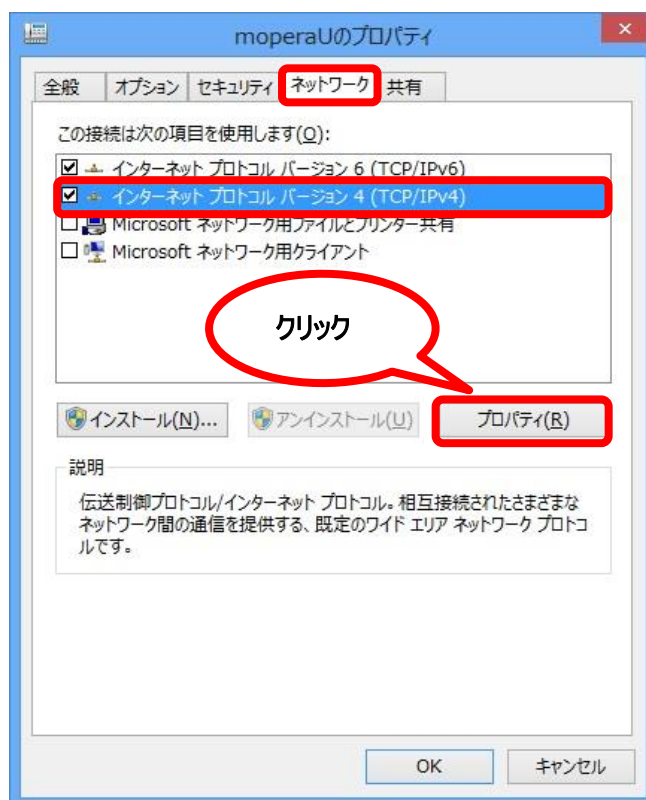


図7.3-20

表示された「インターネット プロトコル(TCP/IP)のプロパティ」において、「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」のラジオボタンがチェックされていることを確認してください。

それぞれのラジオボタンがチェックされていない場合には、図7.3.3-4を参考にそれぞれを設定してください。

※ドコモの「moperaU」以外のISPを利用してダイヤルアップ接続を行う場合には、利用するISPが定めるセットアップ方法にしたがって「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を設定してください。

※装置ネットワークなど限定されたネットワークに接続する場合には、該当するネットワークの設定方法にしたがって「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を設定してください。

設定を確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください(図7.3.3-4)。

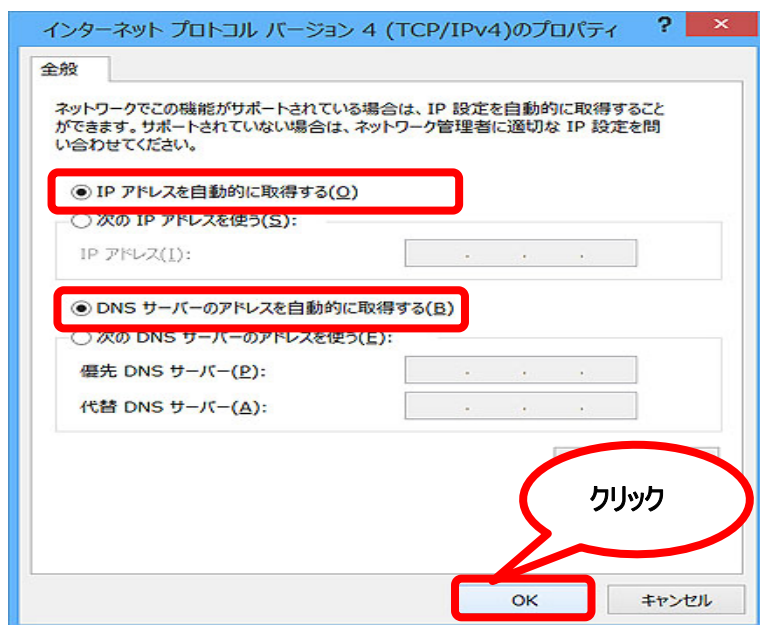


図7.3-21

以上で「モデム設定・接続プロファイルの設定・確認」が完了しました。

「OK」ボタンをクリックして、「moperaU プロパティ」ウィンドウを閉じてください(図7.3.3-5)。

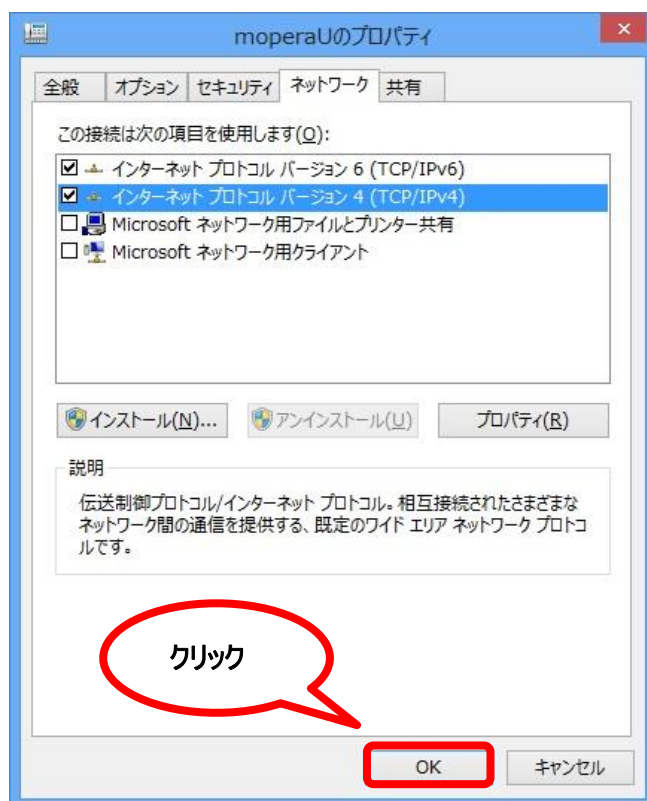


図7.3-22

8. 制約事項

8.1. モデムの照会

UM04-KOは「診断」タブにある「モデムの照会」に対応しておりませんので、実行しないでください(図8.1-1)。

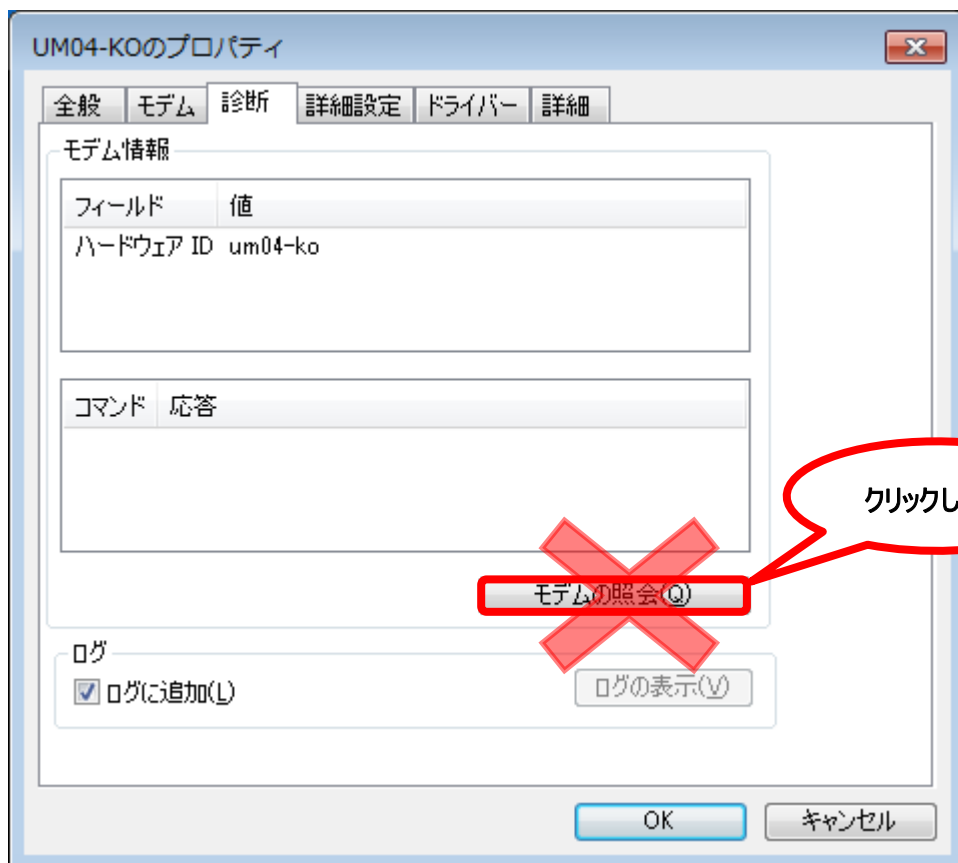


図8.1-1

なお、モデムの照会をおこなった場合、数秒後に次のエラーメッセージが表示されます。表示されている「エラー」ウィンドウを「OK」ボタンをクリックして閉じてください(図8.1-2)。

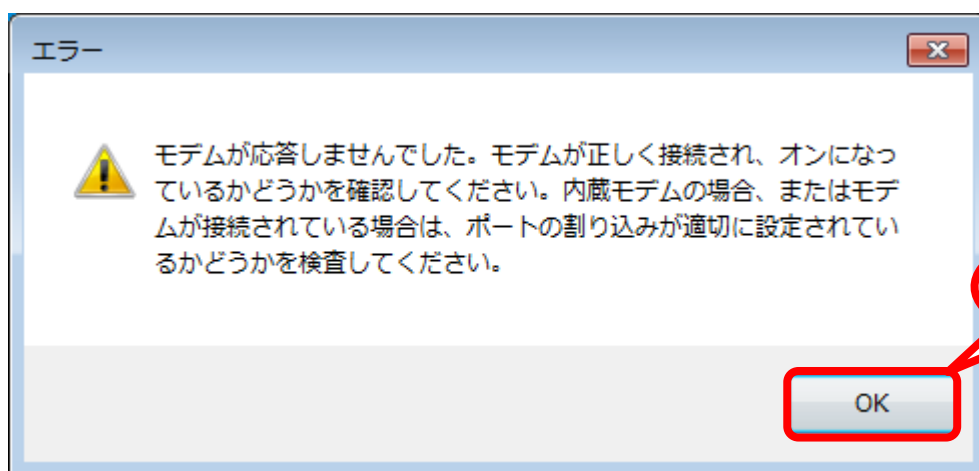


図8.1-2

本取扱説明書およびモデムセットアップ情報ファイル(UM04-KO.INF)の著作権は株式会社国際電気に帰属します。株式会社国際電気の許可なく、本書の一部または全部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されています。

ユビキタスモジュール(UM04-KO)用「モデムセットアップ情報ファイル」設定手順書

2025/1(第2.0版)

Copyright(c) 2025 KOKUSAI DENKI Electric Inc. All rights reserved.